



Plug & Play対応PCIバス用LANアダプター CentreCOM[®] **LA-PCI** ユーザーマニュアル



ユーザーマニュアル

©1995-98 アライドテレシス株式会社

(信田	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	•
		•
▶ 本彩品 [・]	を女全に使用するために、以下の事項 わ立りください。これこの専巧が立ら	•
を必り	わすりくにさい。これらの事項かすら ない損合 成電 収発 山巛 な際な	•
	ない場合、感電、怪我、火災、政障な 回になります	•
との原	囚になりまり。	•
	孤事 合除	
	111安ノロPK 稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設	•
感電	置などの作業を行わないでください。落雷によ	
	り、感電する恐れがあります。	•
	静雷気注意	•
	本製品は、静電気に敏感な部品を使用していま	•
警告	す。部品が静電破壊する恐れがありますので、コ	•
•	ネリターの接点部分、部品などに素手で触れない でください。	•
		•
Λ	取付け・取外し時の注意	•
	コンピュータの 拡張スロットに本製品を取り付け	•
	ついまは、必9コノビュータの電源を切り、電源 プラグを電源コンセントから抜いて行ってくださ	•
	い。また、これらの作業はコンピュータのマニュ	•
	アルを参照の上正しく行ってください。	•
	設置・ケーブル配線・移動は電源を抜	•
		•
警告	本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場	•
	合は、必9コンビューダの電源を切り、電源フラ グを雷源コンセントから抜いて行ってください。	•
		•
	取り扱いは丁寧に	•
	落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えた	•
警告	りしないでください。	•
	次のような場所での使用や保管はし	•
	ないでください	•
警告	・直射日光の当たる場所	•
	- 咳	•
	(結露するような場所)	•
	・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所	•
	・振動の激しい場所	•
	・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所	•
	(静電気障害の原因にもなります)	•
	・ 腐食性カスの発生する場所 ・ スピーカ付近などの強磁界	•
•		•
\wedge	動作温度と湿度	•
	本製品は温度0 ~ 40 、湿度95%以下(ただし、 結構なきことの範囲内でご使用ください	•
	和路なさして 刃靶四内 じし使用く ださり。	•

この度は、「CentreCOM LA-PCI」アダプターをお買い上げいただ きまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品 を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつで もご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいます ようお願いいたします。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が 同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認 いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですがお 買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- ・LA-PCI-T、LA-PCI-2T またはLA-PCI-5T(永久保証対象)
- ドライバーディスク(2枚)
- ・ ユーザーマニュアル
- 永久保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号ラベル

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機 種として「AT互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記 を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名 が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替え てください。

- •「フロッピードライブ」として「A:」
- •「起動ドライブ(ハードディスク)」として「C:」
- ・「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9800またはPC-9821」における一般的なドライブ名を下 記に挙げます(必ずしも下記の通りではありません。コンピュータ のマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください)。

- •「フロッピードライブ」として「B:」
- •「起動ドライブ(ハードディスク)」として「A:」
- •「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装 置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあ ります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要 求されることがあります。

2

このマニュアルの構成

このマニュアルは、次図のような構成になっています。ご使用の オペレーティングシステム(OS)に応じて、図のように読み進んで ください。09(ドライバー)に依存したトラブルシューティング(エ ラーメッセージ)は、各章ごとに説明されています。OSに依存し ないネットワークに関するトラブルや本製品のハードウェア診断 のしかたは、第12章、第13章でまとめて説明されています。



0 目次

	使用および取り扱い上の注意 内容物をご確認ください ドライブ名「A:」「C:」「D:」	2 2 2 3
1	概要 1.1 特長 1.2 対応コンピュータ機種 1.3 製品バリエーション 1.4 各部の名称と働き 1.5 ドライバーディスク	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
2	コンピュータへの取付け・取外し 2.1 コンピュータへの取付け 2.2 コンピュータからの取外し	6 6 7
3	イーサネットへの接続 3.1 10BASE-T 3.2 10BASEズ LA-PCI-2T) 3.3 10BASEズ LA-PCI-5T)	7 7 7 8
4	Windows98 4.1 用意するもの 4.2 ドライバーの新規インストール 4.3 インストールの確認とアダプターの設定 4.4 ドライバーの削除 4.5 ドライバーの削除 4.6 ドライバーの削除 1 4.5 4.7 本製品を認識しない 4.8 デバイスマネージャで「×」マークが付く 4.9 リソース値重複の回避	8 8 9 1 1 2 2
5	Windows95 1 5.1 用意するもの 1 5.2 Windows95のパージョン確認 1 5.3 ドライパーのインストール 1 5.4 インストールの確認とアダプターの設定 1 5.5 ドライバーの削除 1 5.6 ドライバーの両インストール 1 5.7 本製品を認識しない 1 5.8 デバイスマネージャで「×」マークが付く 1 5.9 リソース値重複の回避 1	2 2 3 4 6 6 7 7
6	WindowsNT Version 4.0 1 6.1 インストール時のご注意 1 6.2 用意するもの 1 6.3 ドライバーのインストール 1 6.4 リソース値の確認 2 6.5 本製品を使用しないとき 2 6.6 ドライバーの削除 2 6.7 再インストール 2	7 7 8 1 2 2 2
7	Windows NT Version 3.5x 2 7.1 インストール時のご注意 2 7.2 用意するもの 2 7.3 ドライバーのインストール 2 7.4 リソース値の確認 2 7.5 本製品を使用しないとき 2 7.6 ドライバーの削除 2	2 2 3 3 6 6

	7.7	再インストール	27
8	NetWa	are サーバー	27
	8.1	NetWare 4.1xJ サーバー	27
	8.2	NetWare 3.12J サーバー	28
9	NetWa	are DOS クライアント	29
	9.1	インストール	29
	9.2	インストール結果	30
	9.3	PC/TCP の共存環境	30
	9.4	エラーメッセージ	31
10	LAN M	/anager DOS クライアント	31
	10.1	インストール	31
	10.2	インストール結果	32
	10.3	PC/TCP の共存環境	32
	10.4	エラーメッセージ	33
11	パケッ	トドライバー	33
	11.1	CentreNET PC/TCP	33
	11.2	その他の TCP 通信ソフトウェア	33
	11.3	エラーメッセージ	33
12	ネット	ワークのトラブル	33
	12.1	10BASE-T	34
	12.2	10BASE2	34
13	ハード	ウェア診断プログラム	34
	13.1	診断手順	34
	13.2	エラーメッセージ	35
A	付録 A.1 A.2 A.3 A.4	製品仕様 10BASE-T インターフェース AUI コネクター MAC アドレス	35 35 35 36 36
В	保証		36
С	ユーザ C.1 C.2 C.3	[*] ーサポート	36 36 37 38 40
	ご注	意	40
	商標	について	40
	マニ	ュアルバージョン	40



1.1 特長

CentreCOM LA-PC(以下、本製品と表記)は以下の特長をもつ LAN アダプターです。

- PCI ローカルバス仕様 Rev.2.0 に準拠 (32bit インターフェース)
- DMA バスマスター方式
- プラグ&プレイ
- 4 個の LED で通信状態のモニターが容易

|1.2| 対応コンピュータ機種

本製品は、PCIバスコネクターを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ

1.3 製品バリエーション

CentreCOM LA-PCIシリーズ LAN アダプターは、次の3つの製 品バリエーションがあります。

 LA-PCI-T UTPコネクター(10BASE-T)のみを持つ機種です。製品 Rev.によって2種類のタイプが存在します。どちらも同じド ライバーで動作します。



- LA-PCI-2T
 UTP と BNC コネクター(10BASE2)を持つ機種で、どちら か一方のコネクターを使用することができます。
- LA-PCI-5T UTPとAUIコネクター(10BASE5)を持つ機種で、どちらか 一方のコネクターを使用することができます。

1.4 各部の名称と働き

図 1.4.1 ~ 3 をもとに各部の名称と働きを説明します。

PCI バスコネクター 本製品とコンピュータを接続するためのコネクターです。

MACアドレスラベル 本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレス ついては、「A.4 MACアドレス」をご覧ください。 LED

- LNK(緑):対向装置と正常にリンクが確立されると点灯します。10BASE-Tを使用する場合に意味を持つランプです。
- COL(黄): 本製品がコリジョンを検出したとき点灯します。
- TX(緑):本製品がパケットを送信したとき点灯します。
- RX(黄):本製品がパケットを受信したとき点灯します。
- UTP コネクター(RJ-45 モジュラージャック) UTPケーブル シールドなしツイストペアケーブル を接続す るコネクターです。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されて います。同じものが、3枚程同梱されており、製品上、外箱 にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベル は、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」 に貼付してください(残る1枚は予備です)。シリアル番号と リビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な 情報です。

製品ラベル

製品名とMACアドレスが記載されています。MACアドレス ついては、「A.4 MACアドレス」をご覧ください。

BNC コネクター(10BASE2)

10BASE2 ケーブルを接続するためのコネクターです。 10BASE2 ケーブルを接続するためには、他に「T字バルブ」 や「ターミネーター」が必要です。また、10BASE2は、「チー パネット」または「シンイーサネット」とも呼ばれます。

AUI コネクター(10BASE5) トランシーバーケーブル(AUI ケーブル)を接続するスライド ロック付き Dsub15p コネクターです。

1.5 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属していま す。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

• AT 互換機 /NEC PC98-NX 用

• NEC PC-9800/PC-9821 用

必ず、ドライバーディスクに含まれる「README.*」ファイルを お読みください。「<u>README.*」には、このマニュアルに記載され</u> ていない最新の情報が記載されています。



¥README.IST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディ 入クの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に 関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、 それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在 します。



図 1.4.1 LA-PCI-T 外観図





図 1.4.2 LA-PCI-2T 外観図



図 1.4.3 LA-PCI-5T 外観図

2 コンピュータへの取付け・取外し

以下に示す手順を参考にし、本製品のコンピュータへの取付け・取 外しを行ってください。拡張アダプターの取付け・取外しはコン ピュータ機種によって異なります。取付けの詳細は、ご使用のコ ンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) コンピュータ本体の電源をオフにしてください。
- (2) 安全のためにコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



コンビュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、 必ずコンビュータの電源を切って行ってください、電源 を投入したままこの作業を行うとコンビュータや本製品 の故障の原因となります。

- (3) コンピュータの天板 (本体のカバー)を固定しているねじを 外し、天板を外してください。
- (4) スロットのカバーを固定しているねじを外し、スロットのカ バーを外してください。

6

(5) 本製品を拡張スロット(PCIコネクター)にしっかり奥まで差 し込んでください。



本製品は、静雷気に敏感な部品を使用しています。部品 が静雷破壊する恐れがありますので、PCI バスコネク ターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

(6) (4)で外したねじを使用して、本製品を固定してください。こ のねじは必ず取り付けてください。

2.2 コンピュータからの取外し

- (1) 本製品の取付け手順の(1)~(3)と同様に、コンピュータの天 板を外します。
- (2) 本製品を固定しているねじを外します。
- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜くときは、左右に振 らずにまっすぐ引き抜いてください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品 が静電破壊する恐れがありますので、PCI バスコネク ターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (4) スロットカバーを元どおりに取り付けてください。
- (5) コンピュータの天板を取り付けてください。





稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作 業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあり ます。

3.1 10BASE-T



 UTP ケーブルの端に付いたプラグの一方を、本製品のUTP コネクターにカチッと音がするまで差し込んでください。



UTP ケーブル シールドなしツイストペアケーブル)は、 カテゴリー3以上のもので、ストレートタイプをご使用 ください。

- (2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してくだ さい。
- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッ チ YOUTPコネクターに差し込んでください。手順は、上記 (1)(2)と同様です。



前に引くと、プラグを抜くことができます。

10BASE2(LA-PCI-2T) 3.2



BNC とUTP コネクターの両方にケーブルが接続されている 場合、UTP コネクターが優先されます。BNC コネクターを 使用する場合は、UTPコネクターにケーブルを接続しないで ください。

 (1) T字バルブを本製品のBNCコネクターに差し込み、ギザギザ の部分を持って右に回してください。T字バルブがロックさ れ、抜けなくなります。



- (2) 手順(1)で取り付けた T 字バルブの両端に、シンワイヤ同軸 ケーブルの BNC コネクターを接続します。
- (3) 本製品がシンイーサネットの一番端のマシンとなる場合は、 T 字バルブの一方の端は「シンーサネット用のターミネー ター(終端抵抗器)」となります。

シンイーサネットケーブル、T字バルブ、ターミネーターを 外す場合は、BNCコネクターを押しながら左に回してロック を外しコネクターを手前に引っ張ってください。



7

3.3

10BASE5(LA-PCI-5T)



AUI と UTP コネクターの両方にケーブルが接続されている 場合、UTPコネクターが優先されます。AUIコネクターを使 用する場合は、UTPコネクターにケーブルを接続しないでく 注意 ださい。

- (1) トランシーバーケーブル(AUI ケーブル)のスライドロックの 無い方のコネクターを本製品のAUIコネクターに差し込みま す。
- (2) 本製品のAUI コネクターのスライドロックをスライドさせ、 ケーブルをロックします。
- (3) トランシーバーケーブルのスライドロックが付いている方の コネクターをトランシーバーの AUI コネクターに差し込み、 スライドロックをスライドさせ、ケーブルをロックします。





4 Windows98



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手 順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機/ PC98-NXへのインストールを例にして説明します。PC-9800/ 注意 PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

本製品のドライバーを初めてWindows98にインストールする場 合、例えば、次にあげるような場合には、「4.2 ドライバーの新規 インストール」を実行し、その後「4.3 インストールの確認とアダ プターの設定」に進んでください。

- Windows98を新規インストールし、これから本製品のドラ イバーのインストールを始める。
- ・ プリインストール版 Windows98 へのインストール。
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、 Windows95では本製品のドライバーをインストールしてお らず、Windows98で初めて本製品を使い始める。

Windows95からWindows98にアップグレードしたとき、既に Windows95で本製品を使用していた場合には、Windows98へ のアップグレードによって、Windows98のCD-ROMから自動的 に本製品のドライバーがインストールされます。



4.1 用意するもの

- LA-PCI・LAN アダプター、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows98 インストール済み)
- Windows98の CD-ROM 本製品のドライバーは、この CD-ROM に入っています)
- Windows98 がコンピュータ購入時にあらかじめインス トールされた形態で提供されたもの、すなわちプリイン ストール版である場合、Windows98のバックアップCD-8生 ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バッ クアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のため に必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップ を取った後でドライバーのインストールを開始してくだ さい。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマ ニュアルをご覧ください。

4.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows98 に新規インストールする手順 を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドラ イバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドラ イバーをインストールする場合の手順について説明します)。

本製品のドライバーは、Windows98のCD-ROMからインストー ルされますので、本製品のドライバーディスクに Windows98 用 のドライバーは収録されておりません。Windows98のCD-ROM から自動的にインストールされるドライバーは、次のとおりです。 本製品は、このドライバーで正しく動作しますので問題はありま せん。

 AT 互換機 /PC98-NX の場合 AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)

- PC-9800/PC-9821の場合 「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」
- (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、 コンピュータの電源をオンにし、Windows98を起動してく ださい。
- Windows98のCD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライ プに入れてください。
- (3) Windows98は本製品を自動的に検出し、本製品に必要なソ フトウェアをインストールします。

	417
H H H	MD PONET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)
新しいハード	ウェアに必要なソフトウェアをインストールしています。
図 4.2.1	



PC-9800/PC-9821 の場合、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROMが CD-ROMドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」 ボタンをクリックしてください。

ティスクの	¥入 🖂
8	'Windows 98 CD-ROM' ラペルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックして ください。
	OK I
図 4.2	.2



「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー 以外のファイルがみつからないと表示された場合、AT 見機機/PC98-NXはパスとして「D:¥win98」を、PC-9800/ PC-9821はパスとして「Q:¥win98」を入力してくださ い。ここでは、CD-ROMドライブ名をそれぞれ[D:」およ び「Q:」と仮定します。

(4) ファイルのコピーが開始されます。

コピー元:		
Windows 98 CD	-ROM	
コピー先:	CTEMP (ID DODC	
1. Comparison II, 100 Cold No.	A STRUMENT FOR SMS	
C#WINDOWS#S	TSTEM#VUDP.380	
CHINDOWS#S	21%	



(5) 次のダイアログが表示されます。CD-ROM ドライブから Windows98のCD-ROMを取り出し、「はい ボタンをクリッ クして、コンピュータを再起動してください。

システム読	定の変更
?	ハードウェアの剤除を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?
	<u> </u>

図 4.2.4



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが 表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタ ンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使 用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム 管理者にご相談ください。

BHGP	ስንና/ምント 🛛 🕅
⚠	DHCP サーバーにアクセスできませんでした。 ローカル ネットワークは接続されて いる可能性があります。 ネットワークの読定に関する詳しいメッセージを表示しま すか?
図 4.2	.5

(6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

4.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを 確認し、さらに必要な設定を行います。

- 1. デバイスマネージャによるインストールの確認
- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックして ください。



(2)「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていればネットワークアダプタ」の下に、「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」が表示されます。

システムのプロパティ ? ×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス
 ● 種類則に表示① ○ 接続別に表示②
T_2C1→7 T_2C1→7
OK キャンセル

図 4.3.2

9



PC-9800/PC-9821の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/ 2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

本製品のアイコンに「×」? ?」「!」などのマークがついてい たり、あるいはアイコンが ネットワークアダプタ の下ではな く「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、イ ンストールに失敗しています。詳しくは、「4.7 ~ 4.9」のドラ イバーに関するトラブルシューティングの節をご覧ください。

(3)「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」を選択 (反転表示)し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイ スの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表 示されていることをご確認ください。

MD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)のプロパティ	? ×
全般「ドライバ」リソース	
AMD PONET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)	
デバイスの種類: ネットワーク アダプタ	
製造元: Advanced Micro Devices (AMD)	
ハードウェアのハーション: 022	
- T/11人の状態 	
このデバイスは正常に動作しています。	
「デバイスの使用	- 1
このハードウェア ブロファイルで使用小可にする(D)	
すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)	
L	
OK N HEVY	7ル
	0,7

図 4.3.3 デバイスの状態

 (4) 本製品が使用するI/Oペースアドレス、インタラプド(IRQ) などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソー ス」タブを選択すると、これらを確認することができます。

AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI-ISA)のプロパティ 🛛 🛛
AMD PONET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)
☑ 直動設定を使う(①)
基にする設定(B): 基本設定 0000 <
リソースの種類 設定 野小な要求 10 メモリの範囲 FFBEBC00 - FFBEBC1F Vの 範囲 FF80 - FF9F
設定の変更(2)
競合するデバイス:
OK 15 +47741
図 4.3.4 リソースの確認

2. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロ トコル、クライアントなどの設定を行います(設定についての詳細 は、システム管理者にご相談ください)。必要な項目の設定を終え たら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックして ください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施 した設定が有効になります。

ネットワークの設定 歳別情報 アクセスの制御
現在のネットワークコンボーネント(N):
Microsoft ネットワーク クライアント
🔜 Microsoft ファミリ ログオン
🔜 NetWare ネットワーク クライアント
AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI-ISA)
■ ダイヤルアップ アダプタ
追加(A) 削除(E) プロパティ(B)
優先的にログオンするネットワーク(L):
Microsoft ファミリ ログオン
ファイルとフリンタの共有モノ
OK ++>\tr

図 4.3.5 ネットワークの設定

3. LED の設定

本製品のLEDを正しく表示させるための設定を施してください(この設定が施されていなくても本製品の動作に支障はありません)。

「コントロールパネル」「ネットワーク」「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」「プロパティ」「詳細設定」と進 み、LED0 ~ LED3 の値を設定します。

AMD PONET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)のプロパティ 「2」× ドライバの種類」バインド「詳細設定 左の一覧がら変更したい設定をかりったし、右に新しい値を指定してください。
7□/(7-(2): Bus Timer(Moro Seconds) Bus Timer(Moro Seconds) Bus Timer(Moro Seconds) Bus Timer(Moro Seconds) Bus Timer(Moro Seconds) 1008
ОК <i>‡</i> +у>tz,L

LED0からLED3の値は、次のように設定してください。

表 4.3.1

LED	設定値	LED名称
LED0	Default (c0)	LNK
LED1	4	RX
LED2	81	COL
LED3	10	ТХ



PC-9800/PC-9821の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/ 2-B05/B6(PCI)」と表示されます。また、「LED1」の値は、 「0x4」と表示されます。

4.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除 してから行います。<u>ドライバーのインストールに失敗した場合も</u>、 この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをま ず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」「システム」「デパイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 4.4.1 ドライバーの削除

PC-9800/PC-9821の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/ 2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

デバイス剤	除の確認 ? ×
H	AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI-ISA)
警告:J	カデバイスをシステムから削除しようとしています。
図 4.4.	.2 デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ ボタンをクリック してください。

システム語	定の変更
?	ハードウェアの削除を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?
	<u>(10.12)</u>
図 4.4	.3

(3)「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 4.4.4 削除後のデバイスマネージャ

- (4) Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、
 PC 拡張スロットから本製品を取り外してください。
- (5) 次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがイン ストールされていない状態となります。

4.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1)「4.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライ バーを削除します。
- (2)「4.2 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製 品のドライバーをインストールします。

4.7 本製品を認識しない

「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマ ネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストール の確認を行った際に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ド ライパーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 3「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってし まった
- 4 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 5「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」が2つ 以上ある



「2」や「3」のような障害は、ドライバーインストール中 に行われる netapi.dl などの Windows98 関連のファイル のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が 考えられます。



PC-9800/PC-9821の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/ 2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手 順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA) アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンを クリックしてください。
- (2)「4.5 ドライバーの再インストール」に進みます。

|4.8| デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA) (AT 互換機 / PC98-NX の場合)、または、「NEC SV-98/2-B05/B6 (PCI) (PC-9800/PC-9821の場合)アイコンに 「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されてい ます。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてくだ さい

- (1) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」(AT互 換機/PC98-NXの場合)、または、「NEC SV-98/2-B05/B6 (PCI) (PC-9800/PC-9821の場合)を選択(反転表示)し、 「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 4.3.1 ~ 3).
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使 用不可にする」のチェック「↓」を外してください。

4.9 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール 作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場 合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性 があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製 品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用する リソース値をWindows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、そ の値が他の Plug & Plav 対応デバイス(本製品を含む)によって使 用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCIやISAの設定ユーティリティを使用して、リソースの重 複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュー 注意 タのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの 値(インタラプト(IRQ), I/Oベースアドレス、メモリ、ダイ レクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、 その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、または、 メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネー ジャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パ ネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指 示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5 Windows95



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手 順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機/ PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9800/ 注意 PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

5.1 用意するもの

- LA-PCI・LAN アダプター、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows95 インストール済み)
- Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスク



Windows95がコンピュータ購入時にあらかじめインストール された形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版 である場合、Windows95のバックアップCD-ROM が付属し ているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが 付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディス クに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーの インストールを開始してください。バックアップ手順は、ご 使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

5.2 Windows95のバージョン確認

Windows95には Version950、VersionA、VersionB、VersionC の4種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製 品のドライバー・インストール時に表示されるメッセージが異なり ます。まず、ご使用のWindows95のバージョンを確認し、「5.3 ドライバーのインストール」に進んでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95を起動してく ださい。
- (2) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルク リックしてください(図5.4.1~2)。
- (3) 「システムのプロパティ ダイアログが現れます。「情報」タブ をクリックしてください。

Version950 「システム:」の番号が「4.00.950」であれば Version950 で す。

システムのフ*ロハ*ティ	夏」ハウォーマンス	? ×
☑ 5.2.1	ジステム: Microsoft Windows 95 4.00.950	

VersionA

「システム:」の番号が「4.00.950a」であれば VersionAです。

	? ×
1 ハフォーマンス	
9274:	
4.00.950a	
	: [スパテェーアス] システム : Microsoft Windows 95 4.00.950a

12 5 Windows95 VersionB. VersionC

「システム:」の番号が「4.00.950 B」であれば VersionB、 「4.00.950 C」であれば VersionC です。



5.3 ドライバーのインストール

本製品のドライバーをWindows 95にインストールする手順を説 明します、ここでは、 ネットワークアダプター用ドライバーを含む ネットワーク環境が全くインストールされていない場合について 説明します)。

本製品のドライバーは、Windows95の供給メディア(CD-ROMや フロッピーディスクからインストールされますので、本製品のド ライバーディスクにはWindows95 用のドライバーは収録されて おりません。Windows95の供給メディアから自動的にインストー ルされるドライバーは、次の通りです。本製品は、このドライバー で正常に動作しますので問題はありません。

- AT 互換機 /PC98-NX の場合 ^r AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA),
- PC-9800/PC-9821の場合 ^rNEC SV-98/2-B05/B06(PCI)_J



本書では、AT 互換機 /PC98-NX の場合を例にして説明しま す。PC-9800/PC-9821 をご使用の場合は、「AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA)」を「NEC SV-98/2-B05/B06 注意 (PCI)」に読み替えてください。

- (1) コンピュータの電源をオフにして、コンピュータのPCIカー ドスロットに本製品を取り付けてください。
- (2) コンピュータの電源をオンにしてください。
- (3) Windows95は自動的に本製品を検出し、本製品用のドライ バーやWindows95のネットワークに関連するファイルのコ ピーを開始します。コピーの途中でWindows95の供給ディ スクが要求される場合は、ご使用のWindows95の形態に応 じて以下のようにパスを入力してください。

プリインストール版 Windows 95 の場合 この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコ ピーされています。ダイアログではディスクを入れるように 要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログ を閉じ、「C:¥windows¥options¥cabs」を指定してくだ さい。ここではWindows95の起動ディスクパーティション をC:と仮定します。



図 5.3.1 ファイルの所在の指定(プリインストール版)

CD-ROM の場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「D:¥WIN95」を入力してく ださい。ここでは、CD-ROM ドライブをD:と仮定します。

フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに 入れて、「ファイルのコピー元(C):」で「A:¥」を入力してく ださい。(ここではフロッピーディスクドライブを A:と仮定 します。)

ディスクの挿入 🛛 🗙		
8	'Windows 95 Disk 2' ラベルの付いたディスクを挿 入して [OK] を押してください。	
	ОК	
図 5.3	.2 フロッピーディスクの要求画面	

(4) 次のダイアログが表示された場合はご使用のコンピュータで はじめてネットワークアダプターをインストールする場合) 内容を読んだ上で「OK」をクリックしてください。

ネットワーク	×
•	このコンビュータをネットワーク上で識別するために、コンビュータ名とワークグルーフ・名が必要です。
	CK I
図 5.3	.3

続いて次のダイアログが表示されます。システム管理者に確 認の上、コンピュータ名、ワークグループ名およびコン ピュータの説明(省略可)を入力してください。

*?トワーク 🛛
ネットワークの設定 ユーザー情報 アクセス権の管理
泣か情報は、キャワク上でエビューが表現場するために 使われます。このスポージの名前と所高する、 サイザル・フ名、簡単な説明を入力してくたさい。
1)比*a~9名: spankfire
ワ~ፇጛ°⊮~フ°: T₩
コンビキュータの読得明
開じる 日本シセル





コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15 字以下の半角文字を使用します。詳細は Windows95のマ ニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合 は、「コントロールパネル」「ネットワーク」を起動し、 「ユーザー情報」タブを選択してください。

(5) 「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動します か?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、フロッ ピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

	えテム語り	官の	変更	X
	?	新し 再起	ー ル 設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります 記動しますか?	o
			III WON INIZO	
2	図 5.3	.5	システム設定の変更	

(6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、 「5.4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みくだ さい。



	• / 5/72/•
⚠	この DHCP クライアントは DHCP サーバーから IP ネットワーク アドルスを取得で きませんでした。 今後も DHCP メヮセージを表示しますか?
	1117 <u>0</u> 1111200
図 5.3	.6

5.4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行わ れていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

- 1. デバイスマネージャによるインストールの確認
- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インス トールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタの 下に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA)」 が表示されます。





図542



PC-9800/PC-9821の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/ 2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」のア イコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、その アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデ バイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストール に失敗しています。詳しくは、「5.7~5.9」のドライバーに関 するトラブルシューティングの節をご覧ください。

(2) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択 (反転表示)し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイ スの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表 示されていることをご確認ください。

AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)のንግስንን 🛛 🛛 🗙
情報 リソース
AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI&ISA)
デバイスの種類: ネットワークアダフラ
製造元: Advanced Micro Devices (AMD)
ハートウェアのハージョン: 022
「デハイスの状態」
このデバイスは正常に動作しています。
2
デバイスの使用
このデバイスを使用する設定のチェックホックスに印を付けてくたさい。
Grienal Configuration (伊用中)
OK キャンセル

図 5.4.3 デバイスの状態(Version 950/A)



図 5.4.4 デバイスの状態(Version B/C)

(3) VersionBまたはCの場合、「ドライバ」タブが存在します。 「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバ ファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」とい うメッセージが表示されますが、これは本製品の仕様によるものであり、ご使用には支障ありません。安心して使用ください。

AMD PONET Fam 情報 ドライパ リ 単語 AMD I	ity Ethernet Adapter (PCI&ISA)の가입시거 [2] × 가~지 PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)
製造元:	情報なし
日付:	9- 5-1996
パージョン:	情報なし
このデッイスコ ていません。	ま、ドライパ ファイルが必要でない か、または読み込まれ
	ドライパファイルの詳細のと
	OK +e)tell
図 5.4.5 「	ドライバュタブ

 (4) 本製品が使用する I/Oペースアドレス、インタラブド(IRQ) などは、Windows95 によって自動的に設定されます。「リ ソース」タブを選択すると、これらを確認することができま す(表示されるまで、時間がかかります)。

MD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)のプロパライ 20 情報 リソース
AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI&ISA)
リソースの設定(2) リソースの接通 該定 IRQ 10 メリジの範囲 FF5EBC00 - FF5EBC1F ビッ ポート アドンE FF00 - FF9F
競合するおかれた: 競合なし
v

図 5.4.6 リソースの確認

2. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロ トコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管 理者にご確認ください。

トワーク		?
いりワークの設定 ユーザー情	報】アウセス権の管理	
現在のネットワーウ構成(トル):		
- Microsoft ネットワーク ク ■ NetWare ネットワーク クラ	5172) 1172)	
AMD PONET Family	Ethernet Adapter (PCI	sisa)
NetBEUI	P	
追加(4)	削除(<u>B</u>)	7'0/\'74(P)
優先的にログオンする		
Microsoft ネットワーク クライン	PVF	T
ファイルとフリンタの共有	(E)	
_ IX8月		
L		
	0	1K ++>>tell

図 5.4.7 ネットリークの設定

3. LED の設定

以下の手順を実行し、本製品のLEDを正しく表示させるための設 定を施してください(この設定が施されていなくても、本製品の動 作に支障はありません)。

(1)「ネットワーク」ダイアログ(図5.4.7)の「AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA)」を選択し、「プロパ ティ」ボタンをクリックしてください。次のダイアログが現 れます。「詳細設定」タグをクリックし、LED0~LED3の値 を表5.4.1のように設定してから、「OK」ボタンをクリックし てください。このダイアログが閉じます。

ACO-電気の支援したし設定を外小し、右に新しい値を 第定してください。 開始にTimer Micro Second Pail Topiex EEEE LEEE LEEE	AMD PONET Family Ethernet Adapter (PCIAISA)のプロパライ	? ×
7°LN'77(@): But Tran Wicro Second Full Doplex LE01 LE01 LE01 TP	たの一覧から変更したい設定を勿っかし、右に新しい値を 指定してください。	
	7' DI'7/(₽): But Timer Uticro Second But Type Tell (Doplex TEL LED2 LED2 TP	
OK feytel	 ОК Ф6/20/	



LED	設定値	LED名称
LED0	c0	LNK
LED1	0x4	RX
LED2	81	COL
LED3	10	ТХ



LED0 ~ LED3 以外のプロパティの値は、変更せずにご 使用ください。また、本製品は全二重モード(Full Duplex はサポートしておりませんので、全二重モードの 設定は行わないでください。

- (2)「ネットワーク」ダイアログ(図 5.4.7)の「OK」ボタンをク リックしてください。ダイアログが閉じ、再起動を促すダイ アログが表示されます。指示にしたがい、コンピュータを再 起動してください。
- 5.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除 してから行います。 <u>ドライバーのインストールに失敗した場合も、</u> この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをま ず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 5.5.1 ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

デバイス剤	除の:#認 ? ×
H	AMD PONET Family Ethernet Adapter (POI&ISA)
警告:こ	のデハイスをシステムから削除しようとしています。
	<u> </u>
図 5.5	.2 デバイス削除の確認

(3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることを確認 し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

72万ムの2710ハウィ ? 2 情報 デパイス マネージを ハートウェア環境 ハフォーマンス
 ● 種類明に表示① ○ 摘続別に表示②
 ● Example ● Example ● Example ● Example ● Fixed ● Fixe
7位ハディ(度) 更新(生) 削除(生) 印刷(火)
開じる [2] キャンセル

図 5.5.3 削除後のデバイスマネージャ

(4) 以上で削除の手続きは終了です。表示されるダイアログの指示にしたがい、コンピュータの電源をオフにしてください。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1)「5.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライ バーを削除します。
- (2)「5.3 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品の ドライバーをインストールします。

5.7 本製品を認識しない

「5.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1.デバイスマ ネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストール の確認を行った際に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA) アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ド ライパーのインストールに失敗しています。ドライパーを一旦削 除し、再インストールを行います。

- 1 正常にインストールできない
- 2 本製品が検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってし まった
- 5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 6 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」が 2 つ以上ある

上記の「3」や「4」のような障害は、以下のような操作を行ったことが考えられます。

 ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll など のWindows95関連のファイルのインストールをキャンセル してしまった。

- (1) 不正にインストールされた「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタン をクリックしてください。
- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての 設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.5 ドライバーの削除」の手順(3)に進みます。

5.8 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使 用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の 状態に切り替えてください。

- (1) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択 (反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表 示します(図5.4.3~4)。
- (2) Version 950またはAの場合、「Original Configuration」 にチェックを付けてください。

ーデルジェク使用	
このデバイスを使用する設定のチェックホックスに印を付けてくり	2361%
♥Original Configuration (使用中):	

図 5.8.1 デバイスの使用許可の設定

(3) Version BまたはCの場合、「このハードウェア環境で使用 不可にする」のチェックを外し、「すべてのハードウェア環境 で使用する」にチェックを付けてください。

75小(2の)使用 □ このホーヤ9±7環境で使用不可にする ☑ すべてのハード9±7環境で使用する
図 5.8.2

5.9 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール 作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場 合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性 があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製 品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用する リソース値をWindows95に予め登録(「予約」と呼びます)し、そ の値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使 用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCIやISAの設定ユーティリティを使用して、リソースの重 複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュー 注意 タのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Plav 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの 値 インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイ レクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、 その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、 メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネー ジャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パ ネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加 をクリックします。画面の指 示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。



本書では、Windows NT Version 4.0 Workstationを使用し、下 記の条件を仮定したインストール例を示します。Serverをご使用 のお客様は以下で示す手順を参考にして、インストールを行って ください。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環 境は、全くインストールされておらずこれからインストール します。
- Windows NT Ver. 4.0 Workstation を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで 答えます。

6.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認くださ い。各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッ ケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュー 夕機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任におい 注意 てご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご 使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていた だきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NEC に よって保証されていないインストール環境でのご使用は、お 客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品 をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせて いただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用す るコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画 面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時 に行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインス トールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってく ださい。Windows NTはPlug & Playをサポートしていないた め、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NT のインストール中に本製品が使用するハード ウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重 複の回避に手間取ることがあります。

6.2 用意するもの

- LA-PCI-T LAN アダプター本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows NT 4.0 インストール済み)
- Windows NT Φ CD-ROM
- ドライバーディスク(本製品付属)

(1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネッ トワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



図 6.3.1「ネットワーク」(コントロールパネル)

(2) 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールします か? の問いに対して、「はい (Y) をクリックしてください。

ネットワークの構成	
⚠	Windows NT ネットワークがインストールされていません。 今すぐインストールしますか?
	TING UNIO

図 6.3.2



「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだ ネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、この ダイアログが表示されます。このダイアログではなく 「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネット ワークに関する WindowsNT ファイルがインストールさ れています。この場合は「ネットワーク」パネルの「ア ダプタ」タブ 「追加」と進むと、手順(4)の図 6.3.4 が 表示され、本製品のみのインストールが始まります。

(3) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示さ れます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付 け、「次へ (N)>」をクリックしてください。

¥917-9 ±91797* 949*-1*	。 このエインーツをネットアーサニック加させる方法を指定してください。
	E (F-07-27:FB/6/09) Uri-74.5001 (77) 79たわはネッパワーク 757 (74)によって オッパークーズ(FB)の (74) イッパークーズ(FC) 70た0(8) ロージャーク・マンドーク 70た0(8) ロンドニークは、モデムを使ってキッパーパージー・計算用します。
図 6.3.3	18代4 (1953) (1953) (1953)

(4) 図6.3.4が表示されたら、「一覧から選択(S)... をクリックし てください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート・	
	【検索開始】をソリックするとネットワーウ アタブ物の検索を開始します。
	検索開始①
	4917-97379 <u>8</u>):
	一覧から遅祝ら。
	((《 展 3個)) 次へ(3) (中)地)

図 6.3.4

(5) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。

CD-ROM からのインストール

「Allied Telesis LA-PCI Adapter」を選択し、「OK」をクリッ クしてください。(6)に進んでください。

ネットワーク ア	\$つ`\$の選択 ? ×
	ハードウェアに通合するネットワークアダフなを切ったし、[OK] を切ったしてくださし、 このコンボーネントのインストール ディスクがある場合は、「ディスク使用」を切ったしてく ださい。
ネットワーク	7\$`7`\$0 <u>0</u>):
📑 Allie	d Telesis LA100-PCI-T Adapter
- Ballies	d Telesis LAISA Adapter 🔤
EP Allies	d Telesis LA-PCI Adapter
B Allies	d Telesis RE2000 Adapter
📑 🕄 Allied	d Telesyn AT1700 Ethernet Adapter 🗸 🗸
	<u>ディスン使用(出)</u>
	OK A THYER

図 6.3.5

ドライバーディスクからのインストール



フロッピーディスクでの供給の場合、CD-ROMに含まれ るドライバーよりも新しいものが提供されていることが あります。最新のドライバーは、バグフィクスや機能の 注意 改良などが施されています。最新のドライバーの入手方 法は、「C.3 最新ドライバーソフトウエアの入手」をご覧 ください。

図6.3.5の「ディスク使用」をクリックしてください。次のダ イアログが表示されますので、ドライバーディスクをフロッ ピードライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt」を入力し、 「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディ スクドライブをA:と仮定します。)



図 6.3.6

次のダイアログで、「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。(6)に 進んでください。

DEM オブショ	ンの選択				×
ハートウェア	設造元のディスクで	けポートされている	ソフトウェア オ	き選択してくだ:	±ц.
AlliadeTa	LeicKK LA-PCI	Ethernet ådente	,		
and the second	STREET, STREET				
E	ОК	キャンセル		∿⊮7°(<u>H</u>)	

図 6.3.7

(6)「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」にチェックマークを付け、「次へ (N):」を クリックしてください。



凶 0.3.0

(7) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、 「次へ (N):」をクリックしてください。(詳細はシステム管理 者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IPプロトコル」のみ をチェックすると仮定します。

\$+19-9 \$2:17:0; 9:4%-F.	。 ネットワーナで使用するネットワークフロ」はを選択してください。不可な場合 」は、システム管理者に可能化してください。
	キットワーン TB154(D) ● 〒 1059700 ランロ540 ● 〒 NWLCAL PD25572 五(A) 72/2ボート ● 〒 NWLCAL PD25572 五(A) 72/2ボート ● 〒 NWLCAL PD25572
	500 500050005000

図 6.3.9

(8) 使用するサービスを設定し、「次へ(N)>」をクリックしてく ださい。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用 されているかは、システム管理者にご相談ください。

ネットワーク セットアップ・ウィザ・ート・	
	次の一覧には、シ254/ことって1/2としまれるサービスが示されています。 【一覧から通知を労かすると、この一覧に追加できます。
	ネッパーウサービスD. ▼ ■ P42 新聞 ▼ ■ N+BIDS (パテ-)ェイス ▼ ■ ワーフテールン ▼ ■ ワーパー
	賢から選択(S). (夏ス(P) (たへの))、 よいせん
छ <u>ि</u> २ 1 0	CARDE A CONTRACT
凶 0.3.10	

(9) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。

2019-9 201707 949-1"	選択されたオック・フ コメーキントとッフパムに必要なオック・フ コポーキントを インストールステ それったれって、ホートンを正しくインストールするために、必要に応じて ジイロジアが美示されます。
	〔次へ〕を外っかすると選択されたエスホーキハを小ストールます。 選択を変更するいコ【厚心】を分ったしてください。
	< 展る(E) 次へ(Q) 入 ・ (E)

(10) Windows NTのインストール元のディレクトリを指定してく ださい。AT 互換機 /NEC PC98-NX の場合は「1386」、NEC PC-9800/PC-9821 の場合は「PC98」となります。(ここで は CD-ROM のドライブ名を D:と仮定します。)

Windows	NT 27+797*	×
đ	しくつかの Windows NT アイルを北上する必要があります。 セルトックは、次の場所でアイル素検索します。目かの場所を検 茶させたい場合は、新しい場所を入力し、「統行」を外ックしてくだ さい。	統行 キャンセル
	d¥i386	



(11)続いて本製品の設定ダイアログが表示されます。設定を変更 せずに、「OK」をクリックしてください(「Media Type」とし て「Auto Select」、「PCI Type」として「PCI」)。

Allied-Telesis,K.	K. LA-PCI Ethernet Adapter C 🔳 🗖 🗙
Media Type:	Auto Select 🔽
PCI Type:	PCI 🔹
Con	tinue N
図 6.3.13	

(12) ドライバーおよびWindowsファイルのコピーが始まります。 手順(7)で「TCP/IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。

TCP/IP	to1707*
⚠	ネットワーク上I DHOP サーハーがある場合は、 創台1 CIP アドルズを提供す るように TOP/IP を構成することができます。不明な場合は、 システム管 理省に同い合わせてください、 DHOP を使用しますか?
	Jat 100

図 6.3.14

(13) (12)で「いいえ」を選択した場合は「TCP/IPのプロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定します。以下の説明では、下にまとめたような具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境におけるものを入力してください。

Microsoft TCP/IPのブロベティ	? ×
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーティング	
DHCP サーバーから、IP アドルスを取得し、この に割り当てることができます。ネッパーウに D ネッパープ管理者にアドルスを問い合わせて、そ てください。	はットワーク アダフタ カート1こ自動的 HCP サーバーがなし場合す。 そのアドルスを下のホックスに入力し
7향가%(P). [1] Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet .	Adapter
○ DHCP サーバーから IP アトルスを取得 - ● IP アトルスを指定する(S)	15Q)
IP 7ドレス(): 192 168	1 131
サブ [*] ネット マスク(<u>U</u>): 255 255	255 0
テウォルトゥニートウェイ(<u>G</u>): 192 168	1 32
]#\$80(<u>D</u>)
ОК	キャンセル 適用(<u>A</u>)

図 6.3.15

- IP アドレス 192.168.1.132
- ・サブネットマスク 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウエイ 192.168.1.32
- ホスト名(コンピュータ名) fuji2
- ・ドメイン abcdef.co.jp
- ・DNSサーバ 192.168.1.1
- ・ワークグループ WORKGROUP
- (14) DNS (Domain Name System)の設定をします。「DNS」の タブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここ では、ホスト名として「fuji2」を仮定しています。

Microsoft TCP/IPのプロベティ ? ×
IP 7トシス DNS WINS 7トシス ルーティング
F34() ネーム システム (DNS)
http://www.http://wwww
DNS サービスの検索順序(S)
192.163.1.1
「 <u>工</u> <u></u> 下へ0004
15加. 編集(2) 即除(2)
- ドメイン サフィックスの検索順序(E)
abodefice)p 上へ(D)t
下へ12+
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

図 6.3.16

(15) 続いて、「WINS(Windows Internet Name Service)アドレ ス」の設定を行います。下の画面では、「Windows 名前解決 に DNS を使う (N)」を仮定しました。

Microsoft TCP/IPの7 ロハ 7ィ ?	×
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーティング	_
- Windows インターネット ネーム サービス (WINS) アタウブタ(D) ① Allied-Telesis,KK: UA-PCI Ethernet Adapter	
フ ⁺ ライマリ WINS サーバー(<u>M</u>):	
セカンタリ WINS サーハー(S).	
□ Windows 名前解決にDNS を使う@	
▼ LMHOSTS 参照を行う(B) LMHOSTS を取り込む(Q	
λ1-7° Ιο(<u>0</u>):	
OK キャンセル 適用(A)	

図 6.3.17

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に 「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細につい てはシステム管理者にご確認ください。



Windows NT Server をご使用の場合は「DHCP リレー」タ ブがあります。DHCP リレーの詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

(16)「次へ (N)」をクリックしてください。

- 「 約1.2 APP-MONYCHY医療別により」Cの32K1-5が34P-9上で 補助空気づく加速を支えてしたで含ます。 ハ*CP-00表示① ■ 医型 1+0/-02 医型 1+0/- 医型 1+0/- 医型 1+0/- ■ 1005 (3/2-7)±(2 医型 1+0/- ■ 1005 (3/2-7)±(2 日本のの) 1005 (3/2-7)±(2 日本のの) 1005 (3/2-7)±(2 日本のの) 1005 (3/2-7)±(2 1005 (3/2-7)±(3/2-7)±(2 1005 (3/2-7)±(3/2-7
〈 戻る(B) 次へ(B) 入 キャンセル



(17)「次へ (N)」をクリックしてください。



図 6.3.19

(18)「次へ(N)」をクリックしてください。ここでは「ワークグ ループ(W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシス テム管理者にご確認ください。

*9h7-9 ±9h797*949*-H	。 コピュージャワーグリルーフまたはドメリッのどちらに参加させるかを選択。そのふ話を入力してくたさい。レチャンチャンチョンドキンチ提択すればれいたからはよ入力
	する名前がかからない場合は、キバワー>管理者に1個別してなさい。 コペムータ名(Q): FUJE
	7-75%-75% WORKGROUP FX1/20 FX1/20
	< 第3(8) 次への)>M +5/24

図 6.3.20

(19)「完了」をクリックしてください。



図 6.3.21

(20) WindowsNTのサービスパックをインストールしている場合、「いいえ(N)」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「はい(Y)」 をクリックしてコンピュータを再起動してください。

ネットワーク	設定の変更
⚠	新しい設定を有効にするには、コンビュータを再起動する必要があります。 今すぐコンビュータを再起動しますか?
	Itt vor
-	

図 6.3.22



更要本製品のドライバーをインストールすると、 サービスパックによってインストールされてい、 たWindowsNTの最新のファイルが、CD-ROMの古いパー ジョンのファイルによって上書きされます。サービス パックをインストールしている場合、コンビュータを再 起動する前に必ずサービスパックの再インストールをすして ください。サービスパックをインストールせずにコン ビュータを起動すると、WindowsNTが起動できなくなる ことがあります。

6.4 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、 使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムを起動 し、「リソース」タブをクリックすると、本デバイス「LAPCI*」(* は番号)に割り当てられたリソースを確認することができます。

-992	システム テネスブレイ ドライブ	バリ サービス	リソース【環境】	ネットワーク
			HAL リソースを	含める田) 🗆
IRQ	デバイス		パス	種類
01	i8042prt		0	ISA
06	Floppy		0	ISA
10	LAPUI			PUI
14	PID/IDF		0	ISA
15	PIIXIDE		ň	ISA
IR	ωψ I/o #'-K <u>T</u>)	DMA(D)	利息	7°N°{Z(<u>V</u>)

図 6.4.1 リソースの確認(IRQ)

		HAL リンー;	えを含める(出) 匚
71 12	デバイス	パス	種類 ▲
0170 - 0177	PIIXIDE	0	ISA
U1CE - 01CF	VgaSave	0	PCI
01F0 - 01F7	PIIXIDE	U	ISA
0200 - 03BB	VgaSave	0	POI
0300 - 0307	vgasave Fel/es	0	内部
10004 - 0005	Fellan	0	17 3014
0304 - 0304	Fel/as	ň	内部
0305 - 0305	Fel/ga	ň	大部
03F0 - 03F5	Floopy	ő	ISA
03F7 - 03F7	Floopy	ŏ	ISA
FF80 - FF9F	LAPCI	Ö	PCI
FFA0 - FFA7	PIDIDE	0	ISA
FFA8 - FFAF	PIIXIDE	0	ISA _
IRQŲ	I/O #'-K <u>T</u>) DMA(<u>D</u>)	¥£j@)	<i>∓</i> ਅੱ⊀ス\⊻)

図 6.4.2 リソースの確認(I/O ポート)

6.5 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、 例えばUTPケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドラ イバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたま まにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークの エラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示される ようになります。この現象はドライバーをアンロードする(バイン ドしない)ことによって回避できます。

- 「コントロールパネル」「ネットワーク」「バインド」と進 みます。「バインドの表示」で「全てのアダプタ」を選択して ください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックしてく ださい。本製品のアイコンが無効
 (ク)アイコンに変わりま す。使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有 効」ボタンをクリックします。



6.6 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下の とおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にパイン ドしていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定 値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。し たがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロト コル、サービスなどを使用できます。

- (1)「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワー ク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダブタ」タ ブをクリックしてください。
- (2)「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリック してください。

識別) サービス) לים אבוי	, 7979	ለብንዮ			
ネッ	トワークアダン	'9(<u>N</u>):					
	[1] Allied	I-Telesi:	r.K. LA-PC	l Ethernet	Adapter		
 項E AII	追加(<u>A</u>) 目の説明() ied-Telesi	s,K.K LA	削除(<u>R)</u> PCI Driver	, 7°D.	1 ¹⁷ 71(<u>P</u>)	更新(山)	
				Ē	OK	1 ++	ンセル

(3)「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。

활 告	×
⚠	この持作はコンボーキントをシステムから削除します。 再度インストールするときは、その前にシステムを再起動してください。 統行しますか?
	TING UNICO
図 6.6	.2



「6.6 ドライバーの削除」を行った後、再びドライバーのインス トールを行う場合は「コントロールパネル」の「ネットワーク」を 起動し、「アダプタ」タブで追加..」をクリックしてください。「6.3 ドライバーのインストール」の手順(4)から再開することになりま す。

7 Windows NT Version 3.5x

本製品のドライバーは、Windows NT Version 3.5 および3.51 に対応しています。本書では、Windows NT Version 3.51 Workstationを使用し、下記の条件を仮定したインストール例を 示します。Server やVersion 3.5をご使用のお客様は以下で示す 手順を参考にして、インストールを行ってください。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされておらずこれからインストール します。
- Windows NT Ver. 3.51 Workstation を使用し、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで 答えます。



本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認くださ い。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル、ヘ ルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッ ケージに同梱されています)に挙げられていないコンビュー 夕機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任におい てご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご 使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていた だきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、<u>NEC に</u> <u>よって保証されていないインストール環境でのご使用は、お 客様の責任において行ってください。</u>それらの環境で本製品 をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせて いただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用す るコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画 面が異なることがあります。 予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時 に行うことは避けてください。必ず、<u>Windows NTのインス</u> トールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってく ださい。Windows NT はPlug & Playをサポートしていないた め、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NT のインストール中に本製品が使用するハード ウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重 複の回避に手間取ることがあります。

7.2 用意するもの

- ・ LA-PCI-T LAN アダプター本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows NT 3.51 インストール済み)
- Windows NT の CD-ROM またはフロッピーディスク
- ドライバーディスク(本製品付属)

7.3 ドライバーのインストール

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブル クリックします。



図 7.3.1 ネットワーク(コントロールパネル)

(2)「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、 「はい」をクリックしてください。





ネットワーク環境が既にインストールされている場合は このダイアログは表示されず、「ネットワークの設定」が 起動します。この場合は手順(10)にお進みください。本 製品のみのインストールが始まります。

(3)「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT の CD-ROMをドライブに挿入し、Windows NT の配布ファ イルへのフルパス(AT 互換機 / PC98-NX では「i386」、PC-9800/PC-9821では「pc98」となります)を入力します。(こ こでは、CD-ROM ドライブを D:と仮定します。)

0	Windows NT セットアップ
đ	Windows MT 配布ファイルへのフルノバスを入力し てください。セットアップコロンビーディスク からファイルを組み込む場合は、ドライブノバス (A:108)など)を入力してください。セットアッ ブは違切なディスクを挿入するよう指示しま す。
	D:¥i386¥
	統行 キャンセル
図 7.3.3	3

(4) 「検出しない」をクリックしてください。

	ネットワーク アダプタ カードの検出	
	セットアップはコンピュータ上のネットワーク アダブタ カードを自動的に検出して組み込み ます。	
	アダプタ カードを検出させるには、「続行ボタ ンをクリックしてください。手動でアダプタ カードを違ぶ場合は、「検出しないりボタンをク リックしてください。	
۵	歳行 検出しない(№ 小ルブ(Η)	
2	7.3.4 ネットワークアダプタカー	ドの検出

(5) 「続行」をクリックしてください。



(6)「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダプタカード(N):」リストボックスで最下行 の「 < なし > 後でネットワーク インターフェイスを選ぶ」を 選択し、「続行」をクリックします。



図 7.3.6

(7) 「OK」をクリックします。



(8) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行 たクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。ここでは、TCP/IPだけをチェックすると仮定します。

0	Windows NT セットアップ	
9-9	選択したネットワーク ブロトコルを組み込む には、(統行)ボタンをクリックするか、Enter キーを押してください。	続行 ヘルプ(H)
	選択を変更するには、チェック ボックスをオ フにしてからI統行Iボタンをクリックするか、 Enter キーを押してください。	
	□ [Nu/Unk IPX/SPX 互換+572#*-+(N)] 図 TCP/IP +572#*-+(<u>T</u>) □ NetBEU(+572#*-+(<u>B</u>)	

図 7.3.8 プロトコルの選択

(9) 手順8でTCP/IPを選択した場合はTCP/IPオプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」をクリックしてください。

Windows NT TCP/IP :	組み込みオブション	
コンボーネント:	ファイル サイズ:	
TCP/IP インターネットワーク プロトコル 甘焼モューティリティ(①) SNMP サービス② CSNMP サービス② CTCP/IP ネットワープ印刷サポート(P) FTP サーバー サービス(P) 問題 TCP/IP サービス(P)	526KB 0KB 125KB 61KB 95KB 23KB	続行 キャンセル ヘルフ [*] (<u>H</u>)
↓ □ DHCP 自動構成を有効にする(E)	2要な容量 587KB 空き容量 75,288KB	I
TOP/IP ネットワーク印刷サポートは UNIX うにするか、または TOP/IP を使用してネッ にします。	印刷キューを直接共利 トワークプリンタに直	町し、印刷できるよ 接接続できるよう

図 7.3.9 TCP/IP オプションの選択

(10)「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプ タカードの追加(P)」をクリックしてください。

ほかのコンボーネントを組み込または1場合には、OKボタンをクリ さい。編み込むときは、このダイアログで(アケアゥルドの)道知また 加を強んでキットワークアダブタまたはソフトウェアを道知して 択したアイテムをカスタマイズするときは4構成を違んでください	リックしてくだ おソフトウェアの追 こください。 遅 い。
	0K 終了 パイル*(型) 添やつべ(山) へルア(円)
IRUA(I): Microsoft ICP/IP EIVAN	

図 7.3.10 アダプタカードの追加

(11)「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダプタカード(N)」リストから最下行の「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」をク リックします。

ネットワーク アダプタ カード(<u>N</u>):	続行
(その他) 各メーカーのディスクが必要 ■	\$+)til
ネットワークのビットアック いん コノビューライ 細みた むネットワーク アダブタカードの種類を指定する必要が あります。ネットワーク アダブタを組み込まない場合	Λ₽7(<u>H</u>)
は、[キャンセルリボタンをクリックしてください。	
図 7.3.11 ネットワークアダプタの追け	0

(12) ドライバーディスクをフロッビーディスクドライブに挿入し、 「¥windows.nt」を入力してください。ここでは、フロッピー ディスクドライブをA:と仮定します。

_	
-	フロッピー ディスクの挿入
đ	ソフトウェアまたはかードウェア メーカーが提 供しているソフトウェア ディスクを導入してく ださい。このディスクのファイル内教のドラ イプやディレクトリなどにある場合は、そのパ スを以下に入力してください。
	A:¥vindovs.nt
	OK \$P2tul
27.3	.12 パスの入力

(13)「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックしてください。

ー OEM オブションの選択
ネットワーク アダブタ ドライバを選択してください。
Alled - Leesiskk LA -PCL Ethernet Adapter
図7313

(14)続いて本製品の設定ダイアログが表示されます。設定を変更 せずに、「OK」をクリックしてください(「Media Type」とし て「Auto Select」、「PCI Type」として「PCI」)。

📥 Allied-Telesis,K.K.	LA-PCI Ethernet	et Adapter Card Setup v2.0
Media Type:	Auto Select	et 🔮 💦
PCI Type:	PCI	
<u>ם</u>		<u>C</u> ancel
図7314		

(15)「バインド」をクリックしてください。

- ネット	ワークの設定	
ほかのコンボーネントを組み込まないけ さい。組み込むときは、このダイアロ2 加を選んでネットワーク アダブタまだ 択したアイテムをカスタマイズするとき	場合には、IOKIボタンをクし ジでIPダブ9 かドの追加また コまソフトウェアを追加して 計ば構成Iを選んでください	リックしてくだ おソフトウェアの追 こください。 遅 い。
	ソルケロクの追加(S) アケフクの追加(S) パケフクの追加(S) 構成(Q) 更新(U) 削除(B)	○K 終了 小イオ・(<u>B</u>) デナワーク(<u>1</u>) へルア(<u>H</u>)

図 7.3.15

(16)「OK」をクリックしてください。プロトコルスタックが本製 品にパインドされます。

-	4	・ットワークのバ・	インド	
バインドの表示() < 上位バインド	<u>3</u>): (すべ	てのコンポーネント >	● 下位パ	 インド>
 NetELOS 1/29-1 ТСРИР 7'01-ЭИ 7-1°> WIN: 7-727-УаУ-> 	7x17> WINS 771 -> Allied-Telesis, S 77(7)+(TCP/IP) WINS 77(7)+(TCI	724(TCP/IP) -> A K.K. LA-PCI Ethen -> Allied-Telesis,k P/IP) -> Allied-Tel	lied-Telesis,K.K. L/ net Adapter Driver LK. LA-PCI Ethern esis,K.K. LA-PCI Et	A-PCI Ethern -> [1] Allie et Adapter D hernet Adap
•	\$#)til	有妳(<u>F</u>)	無効(<u>D</u>)	► ^ル7'(<u>H</u>)
図 7.3.16	プロトコル	レの選択		

(17)続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの 場合について説明します。「TCP/IP プロトコル」を選択し、 「構成(C)...」をクリックしてください。以下の説明では、下に まとめたような具体的なアドレス、名称を使用しますが、こ れらはお客様の環境におけるものを入力してください。



図 7.3.17 TCP/IPのカスタマイズ

- IP アドレス 192.168.1.132
- ・サブネットマスク 255.255.255.0
- ・デフォルトゲートウエイ 192.168.1.32
- ホスト名(コンピュータ名) spankfire
- ・ドメイン abcdef.co.jp
- DNSサーバ 192.168.1.1
- ・ワークグループ WORKGROUP

(18) TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはシステム管 理者にご確認ください。以下の画面は一例です。設定を終えたら「OK」をクリックしてください。





	DNS の構成
	ホスト名心: spankfire ドメイン名心: abodef.co.jp
	Fドメインネームサービス (DNS)の検索順序(S) [1500(2)] (一利防(Q) 「「」」 」 「「」」 」 」 「」 」 」 「」 」 」 」 「」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」
	ドメイン サフィックスの検索場所(20) #bcdsf.colp // 「「 () (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (
	OK キャンセル ヘルフ [*] (円)
ſ	ドメイン サフィックス 一覧に追加するドメイン サフィックスを入力してください。ネットワ ーク管理者はこの値を提供する必要があります。
(7.3.19 DNSの構成図7.3.18で「DNS」をクリック

- Microsoft TCP/IPの詳細構成
「アダプタ(P) [1] Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet Adapter 🛓
IP 7F/bZ(0): IP 25225250
デフォルト ゲートウェイ(E): (192.168.1.32) (1
· · · 〕
Windows ネットワーク バラメータ
○ Windows 名前報決にDNS を使用する(B)
区 LMHOSTS の参照を行う① エーア*ID(C):
 □ wns 代理エージェンルを有効にする@@ □ IP ルーラビングを有効にする@@
ОК 1 47/th (Л.17/th)
Windows ネットワーク名吉都決するためにIDNS の様式Iダイアログ ボックスで指定した DNS サ ーバーを使用するには、このオプションを選択してください。

図 7.3.20 TCP/IP の詳細設定(図 7.3.18 で「詳細」をク リック)

(19) 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカ スタマイズし、「終了」をクリックします。(詳細はシステム 管理者にご確認ください。)

ネットワークの設定	
13かのコンボーネントを組み込まれ、場合には、000ボタンをクリ さい。編み込むときは、このダイアログで17ケ7カトトの通知または 加を強んでそットワークアダイタまたはソフトウェアを通知して、 択したアイテムをカスタマイズするときは構成を選んでください。	ックしてくだ 虹ソフトウェアの追 ください。選
わウ・フ パカン と アブ ブ り・「 相み 込まれ ている カナ・フ パカン (ヅ): Net 105 (ア・カ・フ ソナカン (ヅ): Net 105 (ア・カ・フ ソナカン (ヅ): 105 (日本): 105 (日本):	0米 林冬了 川下(水*(臣) 浸か?-?([N) 礼ルブ(円)

図 7.3.21 ネットワークセットアップの終了

場合によってはここで「ネットワークセットアップの警告 ダ イアログが表示されます。この場合は次のように設定し、手 順20 へ進みます。

- 「ネットワークセットアップの警告」で「OK」をクリック
- 2. 「ネットワークの誤動作」で「いいえ」をクリック
- 「ドメイン / ワークグループの設定」で参加するドメインまたはワークグループを設定し(詳細はシステム管理者にご確認ください)、「OK」をクリック
- (20) WindowsNTのサービスパックをインストールしている場合、「再起動しない (D)」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「再起動する (R)」をクリックしてコンピュータを再起動してください。



図 7.3.22

重要 本製品のドライバーをインストールすると、 サービスパックによってインストールされていた。 ないindowsNTの最新のファイルが、CD-ROMの古いバー ジョンのファイルによって上書きされます。サービス、 パックをインストールしている場合、コンビュータを再 起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックの再インストールをしていた。 てください。サービスパックをインストールせずにコン ビュータを起動すると、<u>WindowsNTが起動できなくなる</u> ことがあります。

7.4 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、 使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムを起動 し、「IRQ/ボートの状態 をクリックすると、本デバイス「LAPCI*」 (*は番号)に割り当てられたリソースを確認することができます。



図 7.4.1 割り込み / ポート

7.5 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、 例えばUTPケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドラ イバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたま まにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークの エラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示される ようになります。この現象はドライバーをアンロードする(バイン ドしない)ことによって回避できます。

- (1)「コントロールパネル」「ネットワーク」アイコン「ネット ワークの設定」ダイアログ「パインド(B).」と進みます(図 7.3.15 ~ 3.16 参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをク リックして電球が消えている状態にしてください。

0	ネットワークのパ	インド	
バインドの表示(<u>S</u>): くす	べてのコンポーネント >	Ŧ	
< 上位バインド		下位バ	インド>
NetEIOS 129-7117 -> WINS	754772H(TOP/IP) -> A	lied-Telesis,K.K. LA	-PCI Ethern
	P) -> Allied-Telesis,	K.K. LA-PCI Etherne	et Adapter E
🌻 7-977-9a9 -> WINS 97(7)h(TCP/IP) -> Allied-Te	lesis,K.K. LA-PCI Et	hernet Adap
			1
+			+
		(m+L(D))	
UK +970/	1939,K <u>E</u> /	₩XXLD/	JUP / U
図 7.5.1			

7.6 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下の とおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバイン ドしていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定 値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。し たがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロト コル、サービスなどを使用できます。

(1)「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネット ワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログ を表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストか ら「Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet Adapter」を選択 し、「削除」をクリックします。

0	*	ットワークの設定	
Dt*1-9名: 7-97ル-7:	SPANKFIRE	<u>変更(G)</u> <u>変更(E)</u>	
지 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전	たとアダプタ りード ているみけっク ソアナカで() 5.K.K. LA-PCJ Ethernet 5.J.F.FLB型 トーナイス ル ているアダプタ りード(<u>A</u>): elesis <u>K.K. LA-PCJ Ethe</u> lied-Telesis,K.K. LA-PCJ	(): (): (): (): (): (): (): ():	OK ++>tH M*(M*(D)] *+>-7(L) ^L7(<u>H</u>)
図761			

(2) 「はい」をクリックします。



 (3)「組み込まれているアダプタカード」から「Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet Adapter」が消えていることを確認して 「OK」をクリックします。

0		ネットワークの設定	
DE*1-9名: 7-9개ル-7:	SPANKFIRE	変更(<u>G</u>) 変更(<u>E</u>)	
- ネォワ-ク ソアクユア 組み込まれで MetgOS イクラ RC 構成 ICF/用アロコル コエコ-9 アラワ 組み込まれて 説見9(<u>T</u>): Mic	とアダプタ カ+ドー いる みォフ-ク ソフトウェ カア 日日 フロイス ト しいる アダプタ カード (<u>月</u> rosoft TCP/IP 日11月	𝑘(𝔅): 𝑘(𝑘)	0K &7 //T/F^(D) 2019-7(U) 7.67(H)

- 図 7.6.3
- (4) フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「再起動 する」をクリックし、コンピュータを再起動します。

0	ネットワーク設定の変更
ſ	ネットワークの設定が変更されました。
	新しい設定を有効にするには、Windows NT を 終了して再起動する必要があります。
	再起動しない(<u>D</u>) 再起動する(<u>R</u>)
図7	4

7.7 再インストール

「7.6 ドライバーの削除」を行った後、再びドライバーのインス トールを行う場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を 起動し、「アダプタカードの追加..」をクリックしてください。「7.3 ドライバーのインストール」の手順(10)から再開することになり ます。

8 NetWare サーバー

第8章では、本製品のドライバーをNetWare、IntranetWareにインストールする手順を説明します。

8.1 NetWare 4.1xJ サーバー

NetWare 4.11J/4.1J サーバーのインストール手順の概要を説明 します。ここでは下記の2点を仮定します。

- 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本製品のドライバーをインストールすれば全て完了の状態となっています。
- [2] NetWareサーバーをインストールするコンピュータは、ハードディスク容量の一部がMS-DOSのパーティションとして 割り当てられており、そのパーティションからMS-DOSの起 動ができるよう準備してあります。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご覧ください。

(1)「SERVER.EXE」を起動します。SERVER.EXEは、
 ¥NWSERVERに存在すると仮定します。

C:¥>CD NWSERVER C:¥NWSERVER>SERVER

SERVERが起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWare のインストールのとき指定したサーバー名」+「:」が表示されます。ここでは、サーバー名として「LILITH を仮定します。

LILITH:

(2) 下記のコマンドを入力してください。

LILITH: LOAD INSTALL

(3) 次のようにメニューの項目を選択していき、「ドライバーの選択」画面を表示させてください。

画面「インストールオプション」 項目「ドライバーオプション」 画面「ドライバーオプション」 項目「ネットワークドライバーの設定」 画面「追加ドライバーに対する操作」 項目「ドライバーのロード」 画面「ドライバーの選択」

「ドライバーのロード」は 4.1J における表示です。4.11J では「追加ドライバの選択」となります。

(4) 画面「ドライバーの選択」が現れたら、「Ins」キー(リストに ないドライバーのインストール)を押し、表示されるメッセー ジを確認してください。 (5) フロッピードライブにドライバーディスクを入れてF3キー を押し、「ディレクトリバスの指定」で下記のディレクトリを入 力してください。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定 します。

NetWare 4.11J(IntranetWare)の場合

A:¥NETWARE.386¥411

NetWare 4.1Jの場合

A:¥NETWARE.386¥410

- (6) 画面「インストールするドライバーの選択が現れます。項目 「LAPCI.LAN」を選択し、リターンキーを押してください。
- (7) 表示されるメッセージに対して「Yes」を選択し、 LAPCI.LAN、LAPCI.LDIをコピーしてください。
- (8) プロトコル、パラメータを設定する画面が現れます。各項目 に適切な設定を入力し、「パラメータを保存し、ドライバーを ロード」を選択してください。各項目について、以下に説明 します。
 - TCP/IP、AppleTalk 必要であれば選択し、設定を施してください。
 - Board: 本製品が実装されてるPCIスロッド(Board)の番号を入 力し、リターンキーを押してください。PCIスロットの 番号ば「1」から始まり、コンビュータのPCIスロット番 号の最も小さいものが「1」となります。PCIスロットを 3基もつコンビュータの場合、1、2、3の3つの数値が とれます。このパラメータは、複数のFrameを使用し たり、複数の本製品を使用する場合には、必ず設定しな ければなりません。
- (9)「バインドするネットワーク番号」の入力を求める画面に対して、お客様の環境における適切な数値を入力してください。
- (10)「追加のネットワークドライバーを選択しますか?」に対して 「No」を選択してください。以上で、本製品のドライバーイ ンストールは終了です。
- (11)次のようにメニューの項目を選択していき、「インストールオ プション」画面に戻ってください。

画面「追加ドライバーに対する操作」 項目「前のメニューに戻る」 画面「ドライバーオプション」 項目「前のメニューに戻る」 画面「インストールオプション」

AUTOEXEC.NCFの例

前述のインストール手順によって作成された AUTOEXEC.NCF ファイルの例を示します。ただし、この例では2枚の本製品を実 装しています。

- LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_1_E83
- BIND IPX LAPCI_1_E83 NET=1024D50
- LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_1_E82
- BIND IPX LAPCI_1_E82 NET=9E705CB8
- LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_II NAME=LAPCI_1_EII
- BIND IPX LAPCI_1_EII NET=6DD0B468
- LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_snap NAME=LAPCI_1_ESP
- BIND IPX LAPCI_1_ESP NET=1C1F1B36
- LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_2_E83
- BIND IPX LAPCI_2_E83 NET=214965CA
- LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_2_E82
- BIND IPX LAPCI_2_E82 NET=21796DDA
- LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_II NAME=LAPCI_2_EII
- BIND IPX LAPCI_2_EII NET=CFBC5ECF
- LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_snap NAME=LAPCI_2_ESP
- BIND IPX LAPCI_2_ESP NET=7387F29

.

8.2 NetWare 3.12J サーバー

NetWare 3.12Jサーバーのインストール手順の概要を説明します。 ここでは、下記の2点を仮定します。

- 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本製品のドライバーをインストールすれば全て完了の状態となっています。
- [2] NetWareサーバーをインストールするコンピュータは、ハードディスク容量の一部が MS-DOS のパーティションとして 割り当てられており、そのパーティションから MS-DOS の起 動ができるよう準備してあります。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご覧ください。

 NetWare サーバーの起動コマンド「SERVER.EXE」が存在す るディレクトリに、本製品のドライバーをコピーします。ここでは、SERVER.EXEはC:¥SERVER.312に存在し、フロッ ビードライブはA:と仮定します。

> C:¥>COPY A:¥NETWARE.386¥312¥LAPCI.LAN C:¥SERVER.312

 (2)「SERVER.EXE」を起動します。SERVER.EXEは、 ¥SERVER.312に存在すると仮定します。 C:¥>CD SERVER.312 C:¥SERVER.312>SERVER

SERVER が起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWare のインストールのとき指定したサーバー名」+「:」が表示されます。ここでは、サーバー名として「LILITH を仮定します。

LILITH:

(3) ドライバーをロードします。

LILITH:LOAD C:#SERVER.312#LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_1_E82

本製品のドライバーに固有のパラメータは、下記の通りです。

- BOARD=数值
 - 「BOARD=」に続けて本製品が実装されてるPCIスロッ トの番号を入力します。PCIスロットの番号は「1,から 始まり、コンビュータのPCIスロット番号の最も小さい ものが「1」となります。PCIスロットを3基もつコン ビュータの場合、1、2、3の3つの数値がとれます。この パラメータは、複数のFrameを使用したり、複数の本製 品を使用する場合には、必ず設定しなければなりません。
- (4) ドライバーに対して、IPXプロトコルのバインドを行います。
 「NET=」に続く数値は、お客様の環境に合った数値を入力してください。

LILITH: BIND IPX LAPCI_1_E82 NET=1024D50

(5) 手順(3)(4)で入力したコマンドは、下記のコマンドを入力し、

LILITH: LOAD INSTALL

下記の順にメニューを選択して、AUTOEXEC.NCFファイル を保存すれば、次回のサーバー起動のとき、自動的に実行さ れます。

画面「インストレーションオブション」 項目「システムオプション」 画面「利用可能なシステムオプション」 項目「AUTOEXEC.NCF ファイルの作成」

複数のプロトコル、アダプターを使用する例

.

LOAD C:¥SERVER.312¥LAPCI BOARD=2

FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_1_E83

- BIND IPX LAPCI_1_E83 NET=1024D50
- LOAD C:¥SERVER.312¥LAPCI BOARD=2
- FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_1_E82
 BIND IPX LAPCI 1 E82 NET=9E705CB8
- LOAD C:¥SERVER.312¥LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_2_E83

```
BIND IPX LAPCI_2_E83 NET=214965CA
LOAD C:¥SERVER.312¥LAPCI BOARD=1
FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_2_E82
```

BIND IPX LAPCI_2_E82 NET=21796DDA

.



NetWare 4.11J/4.1J/3.12J の MS-DOS クライアントのインス トールにおける要点を説明します。インストール手順の詳細は、各 NetWare のマニュアルをご覧ください。

NetWare 4.11Jのインストールにおいて、「クライアントフロッ ビーディスク」を使用すると仮定します (CD-ROMから直接インス トールすることもできます)。「クライアントフロッピーディスク」 は、NetWareのCD-ROMの「INSTALL」コマンドで作成すること ができます。



 NetWare 4.11J/4.1Jの場合は、「NetWare Client for DOS and MS Windows Disk-1」をフロッピードライブに入れ、下 記のコマンドを実行してください。

A: ¥> INSTALL



NetWare 4.1Jの場合、「INSTALL」を実行する前に「SET NWLANGUAGE=NIHONGの」を実行してください。この 環境変数がセットされていない場合、メッセージが英語 となります。詳細は、NetWare 4.1Jのマニュアルをご覧 ください。

NetWare 3.12J の場合は、「WSDOS_1」ディスクをフロッ ピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください。

A:¥>WSINST

- (2) NetWare 4.11Jの場合、まず次の3つの質問が行われます。 お客様の環境に合わせて適切なものを選んでください。
 - AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYSの修正について
 - インストールするクライアントの選択
 - 時間に関する環境変数の設定
- (3) 続いて、6つの項目が表示されます。まず、1、2、3、4.の 質問に対して画面の指示にしたがって答えてください。
- (4) NetWare 4.11Jの場合、5.で「ネットワークボード」を選択します。「リストを表示するには、ここを選択して <ENTER>を押してください」を選択して、リターンキーを押 してください。手順5 が進みます。

NetWare 4.1J の場合、「5. ネットワークボードのドライ パーを選択してください」を実行すると、新たな画面「ネット ワークボード」が表示されます。最下行の「他のドライパー」を 選択してリターンキーを押してください。手順5)に進みます。 NetWare 3.12Jの場合、「ステップ 5.」を実行すると、手順 5)に進みます。

(5)「ドライバーディスクの挿入」を促す画面が表示されます。フロッピーディスクを本製品のドライバーディスクに入れ替え、次のディレクトリ名を入力してリターンキーを押してください。

NetWare 4.11Jの場合

A:¥NW411

NetWare 4.1J の場合

A:¥NW410

NetWare 3.12JJの場合

A:¥NW312

- (6)「CentreCOM LA-PCI」を選択し、リターンキーを押してく ださい。
- (7)「CentreCOM LA-PCIの設定」という画面が表示されます。以下の項目の設定が終了したらESCキーを押し、この画面を終 了してください。

Media Frame Type(S) ご使用になるフレームタイプを選択してください。

- (8) 以後、インストールプログラムが表示するメッセージに従っ て操作してください。
- (9) インストールが終了し、DOSプロンプトが表示されたら、リセットスイッチを押してコンピュータを再立ち上げしてください。

9.2 インストール結果

NetWare のインストーラによるインストールが終了すると、 NetWare クライアントの動作に必要なファイルやドライパー 「LAPCI.COM」がコピーされ、NET.CFG、STARTNET.BATが作 成されます。AUTOEXEC.BAT に「@CALL drv:¥NWCLIENT ¥STARTNET」、PATHIC「drv:¥NWCLIENT」を追加されます。ま た、NetWare 4.11Jの場合は時間に関する環境変数「SET TZ=JST-9」も追加されます(「drv」はドライブ名)。

NetWareクライアントのインストーラに対して、デフォルトの項 目を選択したときの NET.CFG、STARTNET.BATを示します。

NET.CFG(4.11J/4.1J, AT/PC98-NX)

Link Driver LAPCI FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester FIRST NETWORK DRIVE = F NETWARE PROTOCOL = NDS BIND SHORT MACHINE TYPE = DOSV NET.CFG(4.11J, PC-9800/PC-9821)

- Link Driver LAPCI FRAME Ethernet_802.2
- NetWare DOS Requester FIRST NETWORK DRIVE = F NETWARE PROTOCOL = NDS BIND SHORT MACHINE TYPE = PC98 LONG MACHINE TYPE = NEC_PC

NET.CFG(3.12J, AT/PC98-NX)

Link Driver LAPCI FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester Checksum = 0 First Network Drive = F Short Machine Type = DOSV Signature Level = 0

STARTNET.BAT(4.11J, AT/PC98-NX)

SET NWLANGUAGE=nihongo C:¥NWCLIENT¥LSL.COM C:¥NWCLIENT¥LAPCI.COM C:¥NWCLIENT¥IPXODI.COM C:¥NWCLIENT¥VLM.EXE



NetWareと弊社 CentreNET PC/TCPの共存環境を構築する最も 簡単な方法は、

- まず、NetWareのクライアントのインストールを行い(この 作業でODIクライアントドライバーのインストールを行いま す)、
- (2) 引き続き、PC/TCPのインストールを行うことです。

(1)、(2)ともそれぞれに付属しているインストーラ(インストールプ ログラム)によってインストールすることができ、メニューを選択 するだけで、自動的に全ての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCP のインストールを行った後、 Net Ware のインストールを行わなければならない場合、 AUTOEXEC.BAT、NET.CFG ファイルの編集を行ってください (CentreNET PC/TCP User's Guide Manualの「インストール結 果」の項もご覧ください)。

NET.CFG の記述

NetWare において NET.CFG ファイルは、本製品が使用するフ レーム、プロトコルなどを設定するファイルです。次に、NetWare と PC/TCP(TCP/IP)を共存させるための記述例を示します(この ファイルは、ドライパーディスクに「¥NW*¥NET.CFG」として収 録されています。コピーしてご使用ください)。太文字の記述行が PC/TCP に関連する行です。NET.CFG の記述に関する詳細は、 NetWare のマニュアルをご覧ください。

```
Link Support
   max stacks 8
Protocol TP
   Bind LAPCI
Protocol ARP
   Bind LAPCI
##This section is for LA-PCI driver
Link Driver LAPCI
  Frame ETHERNET 802.3
   Frame ETHERNET_802.2
   Frame ETHERNET II
  Protocol IPX 0000 ETHERNET_802.3
   Protocol IPX 00e0 ETHERNET_802.2
  Protocol IPX 8137 ETHERNET II
   Protocol IP 0800 ETHERNET II
   Protocol ARP 0806 ETHERNET II
NetWare DOS Requester
  (デフォルトの NET.CFG の記述をご覧ください)
```

以下に従い、お客様の環境で使用しないフレーム、プロトコルは シャープ「#」またはセミコロン「;」によってコメントアウトして ください。

- (1)「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものや、NetWare Liteにおいてデフォルトで使用されるフレームです。NetWare 3.12J以降とNetWare 3.11J以前のサーバが混在して存在する環境では、この記述を追加しなければなりません。
- (2)「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 3.12J、4.1xJに おいてデフォルトで使用されるフレームです。
- (3)「Frame ETHERNET_II」は、弊社 CentreNET PC/TCP などのTCP/IP 通信ソフトウエアで使用されるフレームです。

AUTOEXEC.BAT の記述

下記のように、STARTNET 記述行の後に、PATH、環境変数 PCTCP、ODIPKT、ETHDRV を記述してください。CONFIG.SYS の編集は不要です。

> @CALL C:¥NWCLIENT¥STARTNET PATH=C:¥PCTCP;C:%PATH% SET PCTCP=C:*PCTCP*PCTCP.INI ODIPKT ETHDRV

9.4 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示される代表的なエラーメッセー ジを示します。

Device not found.
 (1)本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着されていません。または、取り付けられていません。
 (2)本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライパーが既に常駐しています。
 (3)PCI規格をサポートしていないコンピュータをご使用になっています。

- The board cannot be found. 本製品が見つかりませんでした。
- An invalid keyword was specified in NET.CFG on line #. NET.CFGに記述したキーワード(予約語)に誤りがあります。 本マニュアルをご覧になり、正しいキーワードを記述してく ださい。

A missing or invalid value was specified in NET.CFG on line #.

NET.CFGに記述した数値に誤りがあります。本マニュアル をご覧になり、正しい数値を記述してください。

- The following configuration file entry was ignored: 記述行が無視されたことを意味します(このエラーメッセージ の後に誤りの記述行が表示されます)。このメッセージは、原 因を説明するメッセージとともに表示されます。
- The LSL is not loaded. LSLを常駐させずに LAPCI.COM を常駐させようとしました。まず、LSLを常駐させてください。

10 LAN Manager DOS クライアント

第10章では、本製品の DOS NDIS ドライバーを MS-DOS にイン ストールする方法について説明します。



Windows NT 4.0 Server で提供されているLAN Manager DOS クライアントにおける手順の概要を示します。

- Windows NT ServerのCD-ROMから、LAN Managerのインストールフロッピーディスク(3枚 を作成します。詳細は CD-ROMの¥Client¥LanmanにあるREADMEファイルをご 覧ください。
- (2)「DOS Setup」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下のコマンドを実行します。

A: ¥> SETUP

- (3) インストーラが起動します。画面の指示にしたがって、イン ストールを進めます。途中、「LAN Managerのインストール」 画面でインストール元ドライブの入力を促されます。デフォ ルトの「A:¥」のままでリターンキーを押し、次に進みます。
- (4) ファイルのコピーが行われます。「DOS WORKSTATION」および「DOS Drivers」の2枚のディスクを要求されますので、 順にディスクを挿入してファイルのコピーを進めます。
- (5) ファイルのコピーが終了すると「ネットワークアダプタドラ イバ」画面が表示されますので、<その他のドライバ>を選 択してください。「ドライバまたはプロトコルファイルのコ ピー」画面が表示されたら、本製品のドライバーディスクを 挿入して「了解」を選択します。
- (6) 本製品の名前が表示されますので、「了解」を選択します。以後、画面の指示にしたがってプロトコル、アドレスなどの設定を行います。これらの項目についての詳細はシステム管理者にお尋ねください。
- (4) インストーラの終了後、必要であれば、CONFIG.SYS、 AUTOEXEC.BAT、PROTOCOL.INIファイルを編集してくだ さい。

10.2 インストール結果

インストールが終了すると、LAN Manager DOSクライアントの 動作に必要なファイルやドライパ「LAPCI.DOS」がコピーされ、 ネットワークや本製品に関する設定を記述したファイル PROTOCOL.INIが作成されます。また、AUTOEXEC. BAT、 CONFIG.SYS にいくつかの記述が追加されます。

PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INI は使用するプロトコルなどを記述しておく設定 ファイルです。LAN マネージャの各ドライバーは、この設定ファ イルに従ってシステムを初期化します。LANマネージャのインス トールプログラムを使用して、LAPCI.DOSをインストールしたと きに生成される PROTOCOL.INIの例を示します。

```
[PROTMAN]
DRIVERNAME = PROTMAN$
DYNAMIC = YES
PRIORITY = NETBEUI
[NETBEUI_XIF]
Drivername = netbeui$
SESSIONS = 6
NCBS = 12
LIM = 1
BINDINGS = "ATIMAC_NIF"
LANABASE = 0
[ATIMAC_NIF]
```

```
DRIVERNAME = ATIMAC$
```

[ATIMAC_NIF]

[ATIMAC_NIF]は、本製品に関する項目を記述するセク ションで、ドライバー名を記述します。

ドライパー名 ネットワークデバイスドライパー名です。必ず下記を記 述しなければなりません。

DRIVERNAME = ATIMAC\$

CONFIG.SYS

CONFIG.SYS に次の2行が追加されます。

DEVICE=C:¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥PROTMAN¥PROTMAN.DOS /i:C:¥LANMAN.DOS

DEVICE=C:¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥ETHERNET¥ATIMAC¥LAPCI.DOS

AUTOEXEC.BAT

AUTOEXEC.BAT の最後に次の記述行が追加されます。

```
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN
THESE LINES === LANMAN 2.1 ====
SET PATH=C*¥LANMAN.DOSWNETPROG;%PATH%
NET START WORKSTATION
LOAD NETBEUI
NET LOGON sasaki *
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN
THESE LINES === LANMAN 2.1 ====
```

10.3 PC/TCP の共存環境

LAN Manager と弊社 CentreNET PC/TCP(以下「PC/TCP」と 略記)の共存環境を構築する最も簡単な方法は、

- (1) まず、LAN Manager のインストールを行い、
- (2) 引き続き、PC/TCPのインストールを行うことです。

(1)、(2) ともインストール作業は、製品に付属しているインストーラ(インストールプログラム)によって簡単に実行できます。また、 メニューが用意されており、適切な項目を選択するだけで自動的にすべての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCPのインストールを行った後、LAN Managerのインストールを行わなければならない場合、 CONFIG.SYS、PROTOCOL.INI、AUTOEXEC.BATファイルの編 集を行ってください (CentreNET PC/TCPマニュアルの「インス トール結果」もご覧ください)。

CONFIG.SYS

下記のように、NDISドライバー記述行の後にDIS_PKT.GUPの記 述を追加してください。

DEVICE=A:#LANMAN.DOS#DRIVERS#ETHERNET#ATIMAC#LAPCI.DOS DEVICE=A:#PCTCP#DIS_PKT.GUP

AUTOEXEC.BAT

AUTOEXEC.BAT の最後に ETHDRV を追加してください。

```
. . . . . . . .
```

LOAD NETBEUI

REM == LANMAN 2.1 ==DO NOT MODIFY BETWEEN THESE LINES==LANMAN 2.1==

ETHDRV

PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INIの最後に次のセクション[PKTDRV]を追加してく ださい。

[PKTDRV]

```
DRIVERNAME = PKTDRV
BINDINGS = ATIMAC_NIF
INTVEC = 0x6E
```

10.4 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示される代表的なエラーメッセー ジを示します。

Unable to allocate stack Not enough high memory to load the driver コンピュータ本体のメモリが不足しています。

Can not find Protocol.ini entry PROTOCOL.INI ファイルが見つかりません。

Device not found

(1)本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着されていません。または、取り付けられていません。
 (2)本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライバーが既に常駐しています。

ハー小氏に吊駐しています。

(3) PCI 規格をサポートしていないコンピュータをご使用に なっています。

```
11 パケットドライバー
```

本製品のパケットドライバー「LAPCIPD.COM」のインストールに ついて説明します。パケットドライバーは、主にTCP/IP通信ソ フトウェア、例えば弊社製「CentreNET PC/TCP」などで使用さ れるドライバーです。

11.1 CentreNET PC/TCP

本製品のパケットドライバー「LAPCIPD.COM」のインストール は、CentreNET PC/TCP のインストーラ (インストールプログラ ム)によって自動的に行われます。

- (1) コンピュータのマニュアルにしたがい、本製品をコンピュー タに取り付けてください。
- (2) PC/TCPのインストーラを実行してください。インストール の途中で本製品のドライバーディスクをフロッピードライブ に入れるように指示されます。
- (3) ドライバーの選択画面で、「パケットドライバー」を選択して ください。

11.2 その他の TCP 通信ソフトウェア

パケットドライバーを要求する他社のネットワークソフトウェア と本製品を組み合せて使用する場合、ソフトウェアに関するイン ストール手順は、ネットワークソフトウェアに添付されているマ ニュアルに従ってください。

しかしながら、ほとんどのネットワークソフトウェアのインス トールにおいて、基本的なことは下記の点です。

- ネットワークソフトウェア自身のインストール:
 ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従ってイン ストールします。
- 本製品用パケットドライパーのインストール:
 ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って、本製品用パケットドライパーを所定の箇所にコピーします。
- AUTOEXEC.BAT の編集: ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集 します。
- CONFIG.SYS の編集: ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集 します。

11.3 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示されるエラーメッセージを示します。

Error: Device not found (1)本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着され ていません。または、取り付けられていません。 (2)本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライ パーが既に常駐しています。 (3)PCI規格をサポートしていないコンピュータをご使用に なっています。

Warning: Driver is already loaded. ドライバがすでに常駐しています。

12 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを 確認してください。

12.1 10BASE-T

LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合 に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。 本製品とハブの両方のLINK LED が点灯していることを確認して ください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点 灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源が入っているか確認してください。
- 本製品とハブをつなぐUTPケーブルが正しく接続されてい るか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本 製品とハブとの接続にばストレートタイプのケーブル」を使 用しなければなりません。
- ハブ(またはスイッチ)のボートの設定が正しいか確認してください。機種によっては、ハブやスイッチ同士を接続するためのボードカスケードボート)を持つものがあり、通常カスケードボートには設定スイッチが存在します。カスケードボートに本製品を接続している場合、カスケードボートを「MDI-X」が10 PC」に設定しなければなりません(通常のハブのボートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケー ブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認して ください。
- ハブ(またはスイッチ)の通信速度を確認してください。本製品は、10Mbps、半二重 Half duplex)のみをサポートしています。

LINK LED は点灯しているが…

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長100mと規定されています。
- UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外 観から判断しにくいため、他のケーブルに交換して試験して みてください(UTPケーブルの断線はテスターなどで調べら れますが、ケーブルの特性が悪い場合などは判断できません)。

対向装置がスイッチの場合、スイッチのポートが全二重に設定されていませんか?スイッチのポートを半二重に設定してください。全二重に設定されている場合、本製品側でコリジョンが多発します。

12.2 10BASE2

・一続きのシンイーサネットケーブル(セグメント)の両端は ターミネーターで終端しなければなりません。シンイーサ ネットケーブルの片方または両方にターミネーターが接続さ れていない場合、コリジョンが継続し通信ができません (COL LEDの点灯が継続します)。シンイーサネットケーブ ルの両端にターミネーターが正しく接続されているかどうか、 シンイーサネットケーブルの途中の接続が外れていないか、 また両端のターミネーター以外に余計なターミネーターが接 続されていないかどうかを確認してください。

13 ハードウェア診断プログラム

ETHDIAG.EXE は、本製品のハードウェア診断プログラムです。 ETHDIAG.EXE は、ハードウェアのテストを行い、エラーを検出 すると、メッセージを表示して終了します。本製品が正常に動作 するかどうかを確認するときや、本製品を使用していて異常が生 じた場合に、何が原因なのかを調べるときにご使用ください。 ETHDIAG.EXE は、「MS-DOS」または「Windows95の DOS プロ ンプトのみのモード」で実行することができます。

13.1 診断手順

- (1) 本製品をコンピュータに組込み、ネットワークに接続してく ださい(ネットワークに接続されていない場合、ハードウェア 診断プログラムはエラーを返します)。
- (2) コンピュータの電源をオンにしてください。
 - Windows95 をご使用の場合は、画面に「Starting windows95…」または「Windows95 を起動しています…」というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを 押してください。

メニューから「Command prompt only」または「コマンドプ ロンプトのみ」を選択してください。(3) に進んでください。

 WindowsNTをご使用の場合は、WindowsNTを終了し、MS-DOSで再起動してください。ご使用のコンピュータに MS-DOSがインストールされていない場合は、ほかのコンピュー タでMS-DOSの起動フロッピーディスクを作成し、そのディ スクを使用してコンピュータを起動してください。(3) に進ん でください。



Windows95の「コントロールパネル」「アプリケーショ ンの追加と削除」アイコン 「起動ディスク」タグ 「ディスクの作成」ボタンで作成した起動ディスクがご使 用になれます。

MS-DOSをご使用の場合、(3)に進んでください。ただし、パケットドライバー、DOS ODIまたはDOS NDIS ドライバー

34 12 ネットワークのトラブル 13 ハードウェア診断プログラム

が常駐している場合は、アンロードしてください。これらが 常駐しているときに ETHDIAG を実行すると、エラーメッ セージが表示されます。

(3) 本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、 下記のコマンドを実行します。ここでは、フロッピードライ ブを A:と仮定します。

> C:¥>A: A:¥>ETHDIAG

また、下記のコマンド行を入力すると、ヘルプを表示します。

A: ¥> ETHDIAG -h

(4) 下記に、正常な試験結果の例を示します。

CentreCOM LA-PCI Diagnostic Version 1.0 pl 2 [AT/IBM-PC] Copyright (c) 1995 by Allied Telesis, K.K. All rights reserved.

Interrupt Level : Oxa I/O Base Address : Oxff80 I/O & Int Check : OK Ethernet Address : OO 00 f4 af ea e5 (60133)

Loopback Check 1 : OK Loopback Check 2 : OK Diagnostic complete.

13.2 エラーメッセージ

- I/O & Int Check: NG I/O または割り込みのチェックでエラーが発生しました。
- Loopback Check #: Tx timeout データの送信時にタイムアウトが発生しました(「#」マークは 数字の1、2を示します)。
- Loopback Check #: Tx is OK, but No interrupt 送信が行われても割り込みが発生しませんでした(「#」マーク は数字の1、2を示します)。
- Loopback Check #: Rx is OK, but No interrupt 受信が行われても割り込みが発生しませんでした(「#」マーク は数字の1、2を示します)。





- 1. ハードウェア仕様 信号: Ethernet Version 2.0 および IEEE802.3(10BASE5/ 2/-T)に準拠
- 2. 機械的仕様(PCIローカルパス仕様 Rev.2.0 に準拠)
 外形: 132.6 x 76.2 x 22mm^{注1}、165 x 107 x 22 mm^{注2}

重量:約65g^{注1}、約200g^{注2}

注1 LA-PCI-T Rev.xH 以後のものにおける数値です。 注2 LA-PCI-2T/5T および LA-PCI-T Rev.xG 以前のものにおける 数値です。

3. 電気的仕様

LA-PCI-T: 10BASE-T使用時:+5V 300mA max LA-PCI-2T: 10BASE-T使用時:+5V 300mA max 10BASE2使用時:+5V 600mA max LA-PCI-ST: 10BASE-T使用時:+5V 300mA max 10BASE5使用時:+5V 300mA max +12V 500mA max

 環境条件 動作保証温度:0 ~ 40 注3 動作湿度:20 ~ 90%以下(ただし、結露なきこと)

注3 本製品の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではあり ません。

- 5. 電気雑音の発生防止 VCCI クラス A
- 使用するハードウェア資源^{注₄}
 IRQ: IRQ チャネルを1つ使用
 I/O: 連続した16パイトを使用
 メモリー:連続する64Kパイト(最大)を予約領域として占有

注 4 これらは、PCI ローカルバス仕様により自動的に設定されま す。

A.2 10BASE-T インターフェース

10BASE-Tインターフェース(MDI)は、RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。



図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

表 A.2.1

ピン番号	信号 (MDIポート)		
1	送信データ(+)		
2	送信データ(-)		
3	受信データ(+)		
4	未使用		
5	未使用		
6	受信データ(-)		
7	未使用		
8	未使用		



図 A.2.2 UTP ケーブル(ストレートタイプ)

A.3 AUI コネクター

イーサネットトランシーバー用コネクターの結線を示します。



図 A.3.1 AUI コネクター

(1) CI Shield	シールド
(2) Cl+	衝突検出 (+)
(3) DO+	送信 データ(+)
(4) DI Shield	シールド
(5) DI+	受信データ(+)
(6) PWR RTN	電源リターン
(7) Not Used	未使用
(8) Shield	シールド
(9) CI-	衝突検出(-)
(10) DO-	送信データ(-)
(11) DO Shield	シールド
(12) DI-	受信データ(-)
(13) PWR+	電源供給線(+12V
(14) PWR Shield	シールド
(15) Not Used	未使用
Shell (Protective	GND)

A.4 MAC アドレス

36

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアド レスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニーク な)アドレスです。

MACアドレスは、下記の6バイト(48ビット)によって構成され ており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更 することはできません。本製品のMACアドレスは、製品に貼付さ れているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16 進数)。



・ ベンダー ID

LAN ベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)が IEEE に申請することにより得られる識別番号。

通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、 LA-PCIは、C0から始まる6桁の数値となっています。この 通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はあ りません。



MAC アドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレ ス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼 ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の 環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これら は別べつのものです。

B 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読 みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項 を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録方」に、までご返 送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送さ れていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受 けられません。



障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依 頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファ クスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは選 けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく 方が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決するこ とができます。記入内容の詳細については、「C-1 調査依頼書のご 記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れ ることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Fax: 00 0120-860-662 年中無休 24 時間受付

Tel: 0000120-860-772 月~金(祝・祭日を除く) 10:00-12:00、13:00-17:00

|C.1| 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因 を突き止めるためにご記入いだだくものです。障害を解決するた めにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入 用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付し てください。 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン 本製品に貼られたシリアル番号ラベルのシリアル番号(S/N)、 製品リビジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入してください。

(例) S/N 00077000002346 Rev 1A

- ご使用の当社のソフトウェア
 当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフ
 トウェアの種類、パージョン(Ver.)、シリアル番号(S/N)を記
 入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上
 に記入されています。
- ご使用のコンピュータの機種
 ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご 記入ください。
- ご使用の周辺機器 CD-ROMドライブ、サウンドボード、SCSIボードなどの他 社製拡張アダブターや、メモリマネージャなどのユーティリ ティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
- ご使用のサーバー、UNIXシステムの機種、OSなど 接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入 ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)
- お問い合わせ内容
- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ご使用のOSがWindows95、Windows NTの場合、お手数 ですが可能な限リシステムレポートをを出力し、添付下さる ようお願いいたします。レポートの出力方法は、「C.2 システ ムレポートの出力方法」をご覧ください。

接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク 機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、パージョンなどをご記入ください。

C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/NTが自動生成するシステムに 関するレポート(名称はOSによって異なります)で、以下の手順で 印刷することができます。 Windows95/98 の場合

- コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイ スマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンをクリックします。
- (3)「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの 概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にした がってください。

Windows NT Version 3.51の場合

- (1)「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、 「Windows NT診断プログラム」アイコンをダブルク リックして起動します。
- (2)「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)…」コマンドを選択します。
- (3)「レポートオプションの印刷」オプションでばずベてレ ポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示 にしたがってください。

Windows NT Version 4.0 の場合

- (1)「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」 「Windows NT診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンををクリックします。
- (3)「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」ばすべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

システムレポートの出力例(Windows95の場合)

システム リソース レポート - ページ: 1 ******************* システムの概要 ****************** Windows パージョン : 4.00.950 コンピュー9名:不明 CPUの種類: Pentium システムパスの種類: ISA BIOS 名: Phoenix BIOSの日付: 01/08/97 BIOS のパージョン: Phoenix NoteBIOS Version 4.05 コンピュータの種類: IBM PC/AT 数值コプロセッサ: Not Present 登録オーナー:XXXXXX 登録会社:XXXXXXX IRQ の使用 00 - システムタイマー 01 - 106 日本語(A01) キーボード(Ctrl+英数) 02 - プログラミング可能な割り込みコントローラ 03 - 通信ポート (COM2) 04 - 通信ポート (COM1) 05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive 06 - スタンダ ート フロッピ ー デ イスク コントローラ 07 - プリンタ ポ-ト (LPT1) 08 - システム CMOS/リアル タイム クロック 10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller 10 - PCI ステアリング用 IRQ ホルダ-「貝 IRQ 制ター Q CardBue

調查依頼書(CentreCOM LA-PCI 1/2)

一般事項						
1. 御社名: 部署名: ご連絡先住所: 〒 TTL:				ご担当	当者:	
ICL. 2			ΓΑΛ. (購λ年日日	.)		
工 購入先担当者:			連絡先(TEL	.). ()	
		×~° ~ ,				
1. こ使用カートのシリアル省	ち、彩品リ	ニション				
	S/N_			Re	۷	
2. ご使用の当社のソフトウェ		pl				
CentreNET PC/TCP		pi. Dl	S/N	090-INA	PC-9000/PC9021)	
CentreNET AT-TCP/3	2 Ver	pi. pl	S/N			
その他) Ver.	pl.	S/N			
その他() Ver.	pl.	S/N			
3. ご使用のコンピュータにつ	いて					
メーカ名:		機種名:				
OS:		バージョン	ン:			
		サービス	パック:			
4. ご使用の周辺機器について						
CD-ROM ドライブ:						
サワンドホード:						
SCSI示一下:						
その他						
5. ご使用のサーバー、UNIX	システムの棒	種、OSな	بلغ			
			-			

7. トラブルの発生時期

セットアップ中に起こっている障害 セットアップ後、運用中に起こっている障害

- 8. システムレポート
 - 添付あり 添付なし

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバー ジョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新 のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することが できます。

ホームページからの入手

- Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator な どのWeb ブラウザを使用して、アライドテレシスの ホームページ「http://www.allied-telesis.co.jp」に アクセスします。
- (2)「SUPPORT」から「ダウンロード」を選択し、「GO」を クリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター」の項目を選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(Tel.) 0120-860-442、9:00~17:30/月~金 までお問い合わせください。 実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いた します。

. . . .

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもの で、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有していま す。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全 部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部 または全体を修正、変更することがありますのでご了承 ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告 なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1995-98 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機 器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1995年03月	Ver.1.0 Pl.0	初版		
1995年03月	Ver.2.0 Pl.0	PC-9800 対応		
1997年09月17日	Rev.A(Ver.2.0 Pl.1)			
	リリースノート	の情報反映、表1、表		
	4、使用上のご	注意、保証とサポート		
	を追加、PN 取	得		
1998年 09月 29日	Rev.B	全改版		

アライドテレシス株式会社

PN J613-M0310-00 Rev.B 980929